

令和4年版
消 防 年 報

令和5年度基本姿勢

**「地域の安全・安心を目指し
消防行政サービスの向上」**

相馬地方広域消防本部

(令和5年6月刊行)

相馬地方広域消防訓

- 一 消防の使命に生きがいを感じ
- 一 民生の安定に寄与しよう
- 一 和衷協同して組織力の効率を高め
防災体制を確立しよう
- 一 広く消防情報を収集して
先見的業務を推進しよう
- 一 知と技を備え規律を厳正にして
親愛される消防人になろう
- 一 職員相互信頼のもと
明朗清新な職場環境をつくろう

目 次

総 括

一目統計	1
相馬地方広域市町村圏域の概要	2
相馬地方広域消防沿革	4
相馬地方広域消防歴代管理者・消防長等一覧表	22
相馬地方広域消防組織図	24
相馬地方広域消防現勢分布図	25
相馬地方広域市町村圏勢の推移	26
消防予算の推移	26
消防施設等整備状況	26
消防庁舎	27
職員配置状況	27
階級別年齢状況	28
職員市町村別居住状況	28
階級別・勤続年数別職員構成	29
年度別職員研修状況	30
職員特殊技能その他の資格取得状況	31
消防相互応援協定状況	32

予 防 統 計

防火対象物の現況	33
防火対象物立入検査状況	34
甲種防火管理者新規（再）講習実施状況	35
防火管理者の選任及び消防計画の届出状況	36
防火対象物定期点検報告制度実務状況	37
防火対象物階層別調	38
市町村別建築同意処理状況	39
所属別建築同意処理状況	39
用途別建築同意処理状況	40
消防用設備等の着工・設置届出件数	41
火災予防条例に基づく届出件数	42

危 険 物 統 計





市町村別危険物施設数	43
数量別危険物施設数	44
類別危険物施設数	45
施設別許可・完成検査・廃止届出件数	46

火 災 統 計

火災発生状況	47
市町村別発生件数	47
市町村別損害額	47
市町村別火災発生状況	48
月別火災発生状況	49
月別火災発生件数（グラフ）	50
覚知別火災件数（グラフ）	50
時間別火災発生件数（グラフ）	51

原因別火災件数（グラフ）	51
曜日別火災発生件数（グラフ）	52
過去5年間の火災発生状況	52
警 防 統 計	
消防活動状況(1)	53
消防活動状況(2)	54
消火活動状況	55
救助活動状況	56
訓練実施状況	57
消防車両の配置状況	58
消防資器材の保有状況	59
通信系統図	62
消防救急デジタル無線整備概要	63
通信施設状況	64
無線機配備状況(アナログ無線)	64
無線機配備状況(デジタル無線)	65
消防水利の現有状況	67
救 急 統 計	
相馬地方救急現勢分布図	68
救急出場件数及び搬送人員	68
救急隊別事故種別出場件数	69
傷病程度別搬送人員数	69
年齢区分別搬送人員数	69
曜日別出場件数	70
時間別出場件数	70
覚知別出場件数	70
救急隊員の行った応急処置状況	71
福島県ドクターヘリ要請概要	72
常磐自動車道事故対応状況	73
過去10年間の救急業務の推移	75
救命講習会の実施状況	76
消防団・関係団体等	
相馬地方広域市町村消防団の組織	77
階級別実員数	78
消防車両の現況	78
福島県消防協会相馬支部顧問	79
福島県消防協会相馬支部役員	79
消防関係団体等の結成状況	80
市町村別消防クラブ等結成状況	85


一 目 統 計


<p>世 帯</p>  <p>一世帯当たり 2.37人</p>	<p>人口密度</p>  <p>1 km²当たり 119.05人</p>	<p>消防費</p>  <p>住民1人当たり 13,909円</p>	<p>消防職員</p>  <p>住民684.1人に 1人</p>	<p>消防団員</p>  <p>住民58.0人に 1人</p>
<p>人口 102,615人 世帯 43,356</p>	<p>面積 873.20 km²</p>	<p>当初予算 1,427,286千円</p>	<p>定員 156人 実員 150人</p>	<p>定員 2,437人 実員 1,768人</p>


<p>火 災</p>  <p>10.7日に1件</p>
<p>件数 34件</p>

<p>火災1件当たりの損害額</p>  <p>1件当たり 1,550千円</p>
<p>損害額 52,702千円</p>

<p>火災による死傷者</p>  <p>年間6人</p>
<p>死 者 1人 負傷者 5人</p>

<p>救急出場</p>  <p>1日に13.1件</p>
<p>4,786件</p>

<p>救助出動</p>  <p>5.3日に1件</p>
<p>69件</p>

<p>緊急通報受信回数</p>  <p>1日に20.0回</p>
<p>7,307回 (うち119は6,919回)</p>

相馬地方広域市町村圏域の概要

1 圏域の構成

当圏域は、相馬市・南相馬市（旧原町市、旧小高町、旧鹿島町が合併）を中心に、新地町・飯舘村の2市1町1村をもって構成し、その圏域は東西に33km、南北に44km、総面積873.20km²、人口は102,615人（令和5年4月1日現在）である。

また、この圏域は、過去相馬藩6万石の領地として22代続いた歴史ある地域であり、運命共同体的な絆の強い人間性を有している。

有名な相馬地方民謡の宝庫であるとともに、「世界一の馬の祭典」ともいわれ、一千有余年の歴史と伝統を誇る国指定重要無形民俗文化財の「相馬野馬追」は、全国に名を馳せた祭りであり、毎年南相馬市を中心として7月最終土、日、月の3日間、圏域内市町村が一体となって執行されている祭典は、広域行政システムの創始といっても過言ではない。

2 圏域の位置・環境

当圏域は、福島県の太平洋沿い北端部に位置し、圏域中心都市の相馬市、南相馬市から県都福島市まで約60km、仙台市まで60～80kmの距離にある。

地形は、圏域西部を南北に縦走する阿武隈高地が尾根となり、この尾根から丘陵が複雑に東走し、一部は海岸まで達している。東走する丘陵の間には河川が東流し、その流域にはそれぞれデルタ状の平地が形成され、市街地集落と耕地が展開している。

太平洋沿岸は単調な南北線で形成され、比較的遠浅の海が広がる。

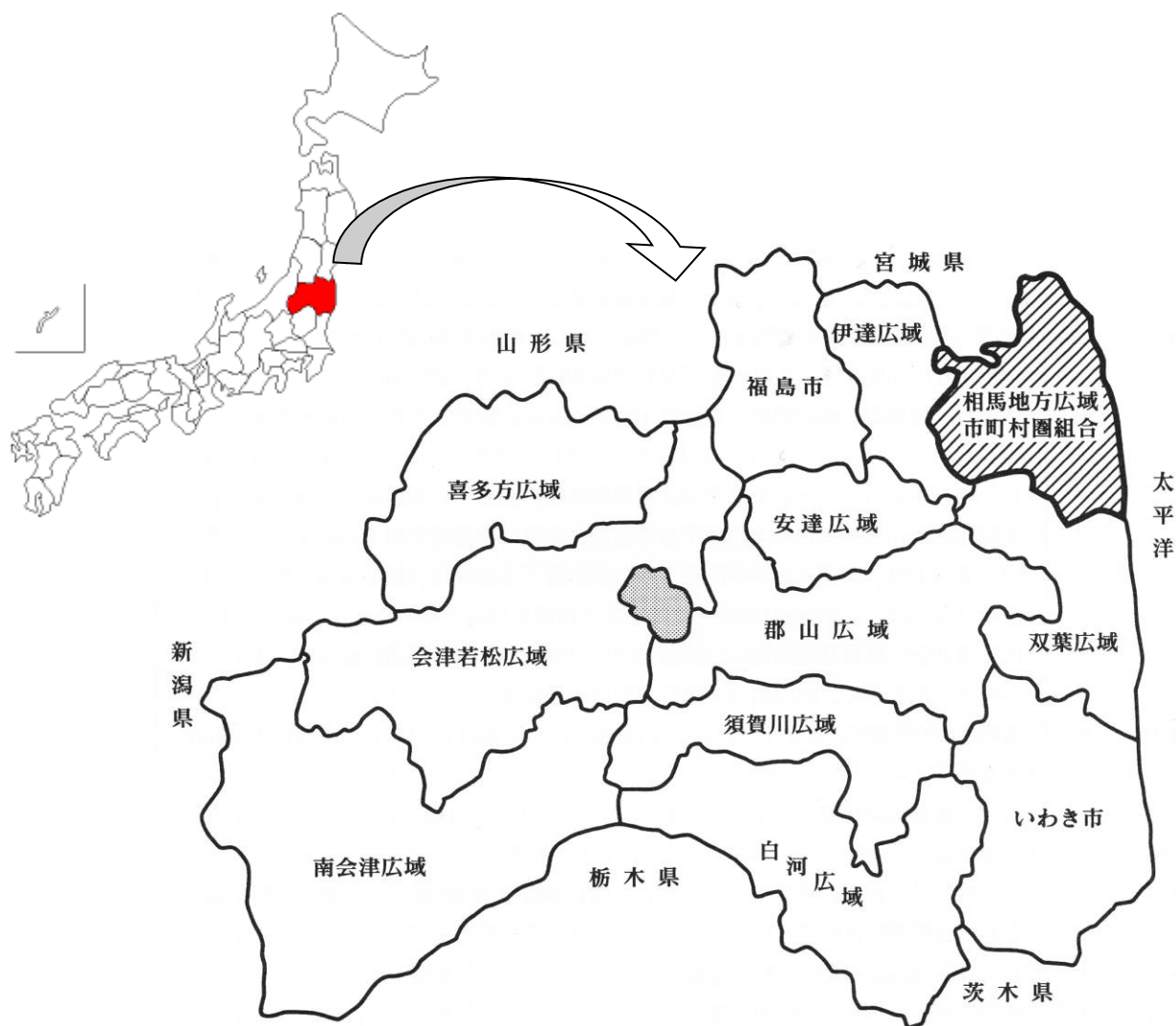
昭和58年から相馬市と新地町を対象に、地域振興整備公団の事業として、相馬中核及び内陸工業団地の整備が行われ、大中小様々な企業の工場が誘致され稼動している。また、南相馬市には、近未来を担うとされるロボットの研究施設が造られ、世界各地から企業が参入し敷地内の様々な施設を利用し日々研究が行われている。

更に、福島県浜通り一帯は電源基地となっており、当圏域では新地町で平成6年から火力発電所（1・2号機）が、続いて平成9年からは南相馬市でも火力発電所（1・2号機）の運転が開始され電力供給の一翼を担う地域となっている。

3 東日本大震災の影響

平成23年3月11日（金）14：46頃に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）では、震度6強の激しい揺れと津波が太平洋沿岸部を襲い、当圏域の沿岸部は壊滅状態となり、多くの尊い命が奪われた。更には東京電力福島第一原子力発電所事故が発生し、大量の放射性物質が放出され多くの住民が避難を余儀なくされるなど、世界でも類を見ない原子力災害となった。当圏域の一部は避難指示区域となり、現在も南相馬市及び飯舘村に帰還困難区域が残るものの、飯舘村長泥地区が特定復興再生拠点区域として一部解除され更に復興が進んでいる。一方で平成27年3月の常磐自動車道全線開通、令和3年4月東北中央自動車道が相馬福島間で全線開通し、被災地復興の加速と高度医療機関搬送の迅速化が図られ、安心安全な住民生活の確保が一層期待される。

4 位置図及び県内消防本部管轄区域



5 圏域の面積、世帯数、人口

(令和5年4月1日現在)

市町村	区分	面積 (km ²)	世帯数	人口		
				男	女	計
相馬市		197.79	14,279	16,409	16,661	33,070
南相馬市	原町区	—	18,006	20,466	20,308	40,774
	小高区	—	2,630	3,139	3,304	6,443
	鹿島区	—	3,690	4,931	4,961	9,892
	計	398.58	24,326	28,536	28,573	57,109
新地町		46.70	2,947	3,863	3,806	7,669
飯舘村		230.13	1,804	2,393	2,374	4,767
合計		873.20	43,356	51,201	51,414	102,615

※ 人口及び世帯数は住民基本台帳に基づく。

※ 南相馬市の人口統計は、令和5年3月31日現在。

相馬地方広域消防沿革

- | | | | |
|-------|----|---|-------------|
| 昭和47. | 4 | 相馬市、原町市、小高町、鹿島町、新地町、飯舘村の2市3町1村からなる相馬地方広域消防が発足、1本部、2署4分署を設置する。
消防職員120名 消防ポンプ自動車10台 救急自動車3台
指令車1台 指揮車2台 無線局6局 移動局17局
初代消防長に渡邊清憲が就任する。 | 1972 |
| | 9 | 化学消火剤（エアフォーム）を2,000㍓備蓄する。 | |
| | 11 | 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）2台を購入し、新地分署、飯舘分署に配置する。 | |
| 昭和48. | 2 | 危険物火災に備え、化学消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽1,500㍓、薬槽500㍓）を購入し、消防本部に配置する。 | 1973 |
| | 4 | 第2代消防長に岸 近が就任する。
原町消防署が橋本町から、消防本部へ移転併設となる。
双葉地方広域市町村圏組合と消防相互応援協定を締結する。
消防本部内の機構改革を行い、庶務係を総務係に、警防救急係を警防係に名称を変更する。 | |
| | 6 | 指揮車（ニッサンブルーバードU）5台を購入し、相馬消防署、小高分署、鹿島分署、新地分署、飯舘分署に配置する。
原町消防署にマイクロ型救急自動車を配置する。 | |
| | 9 | 飯舘分署に救急自動車を配置する。
伊達地方消防組合と消防相互応援協定を締結する。
消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を購入し、鹿島分署に配置する。 | |
| 昭和49. | 1 | 亙理地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結する。 | 1974 |
| | 6 | 仙南地域広域行政事務組合と消防相互応援協定を締結する。 | |
| | 8 | 第24回福島県水防演習が鹿島町の真野川にて実施される。
空気充填機1台を購入し、消防本部に設置する。 | |
| | 9 | 昭和49年度福島県総合防災訓練が原町市で実施される。 | |
| | 12 | 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽2,000㍓）1台を購入し、相馬消防署に配置する。 | |
| 昭和50. | 8 | 第5回福島県下消防職員親善卓球大会を相馬市（相馬女子高）で開催する。 | 1975 |
| | 11 | 相馬地方防火管理連絡協議会が設立される。 | |
| | 12 | 民間クレーン業者（松島、山王）と協力契約する。 | |
| 昭和51. | 4 | 第3代消防長に吉田嘉基が就任する。
相馬地方消防設備保守協会が設立される。 | 1976 |
| | 7 | 指揮車（ニッサンブルーバード）を購入し、原町消防署に配置する。 | |
| | 10 | 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を購入し、相馬消防署に配置する。 | |
| 昭和52. | 4 | 消防本部の機構改革で、総務課、消防課の2課制とする。 | 1977 |
| | 6 | 救助訓練塔を消防本部前庭に仮設する。 | |
| | 10 | 消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を購入し、原町消防署に配置する。 | |
| | 12 | 日本損害保険協会より救急自動車（トヨタ2B型）が寄贈され、相馬消防署に配置 | |

する。

- 昭和53. 5 東京海上火災保険会社より広報車（トヨタカーナバン）が寄贈され、**1978**
原町消防署に配置する。
- 7 職員定数条例の一部を改正、3名の増員を図り123名とする。
- 8 広報車1台（トヨタコロナバン）を購入し相馬消防署に配置する。
指令車（ニッサンセドリック）を購入し、消防本部に配置する。
- 9 救急自動車（トヨタ2B型）を購入し、原町消防署に配置する。
- 11 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽2,000ℓ）を購入し、小高分署に配置する。

- 昭和54. 10 新地分署庁舎の事務室（42㎡）を増築する。**1979**
相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 11 相馬地方少年婦人防火委員会が設立された。
- 12 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽2,000ℓ）1台、消防ポンプ自動車2台を
購入し、水槽付消防ポンプ自動車を鹿島分署に、消防ポンプ自動車を相馬消防署と
原町消防署に配置する。

- 昭和55. 4 第4代消防長に泉 茂が就任する。**1980**
職員定数条例を一部改正、1名の増員をはかり124名とする。
- 8 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（トヨタランドクルーザーA1級）が寄贈さ
れ、原町消防署に配置する。
- 9 昭和55年度福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。
- 11 日本防火協会より相馬地方婦人防火クラブに防火広報車（ニッサンキャラバン）が
寄贈される。
相馬地方広域消防検閲式を実施する。

- 昭和56. 2 圏域内関係者と相馬地方広域消防の間で、ガス漏れ及び爆発事故防止対**1981**
策に関する覚書を締結する。
日本損害保険協会より救急自動車（トヨタ2B型）が寄贈され、飯館分署に配置する。
- 3 福島県共済農業協同組合連合会より救急自動車（ニッサン2B型）が寄贈され、原町
消防署に配置する。
- 6 相馬郡医師会の協力により救急I課程講習会を開催、職員45名、双葉広域消防職員
17名が受講し資格を取得する。
- 7 職員定数条例を一部改正、2名を増員し126名とする。
- 10 第9回福島県下消防職員親善剣道大会を原町市（県営原町体育館）で開催する。
- 11 消防器具搬送車（いすゞバン）2台、査察車（ニッサンパルサー）1台を購入し、相馬
消防署、原町消防署に器具搬送車、消防本部に査察車を配置する。
昭和56年度福島県相双地方防災訓練を小高町で実施する。

- 昭和57. 4 職員定数条例を一部改正、2名増員し128名とする。**1982**
- 6 指揮兼広報車（ニッサンパルサー）2台を購入し、相馬消防署、鹿島分署に配置する。
- 9 昭和57年度福島県総合防災訓練が原町市で実施される。
- 10 消防ポンプ自動車（ニッサンBD1型）を2台購入し、新地分署、飯館分署に配置す
る。

- 昭和58. 4 第5代消防長に吉田信雄が就任する。**1983**
- 6 指揮兼広報車（ニッサンパルサー）2台を購入し、原町消防署、飯館分署に配置（更

新)する。

- 9 救急自動車（トヨタ 2 B 型）を購入し相馬消防署に配置(更新)する。
- 1 2 昭和 5 8 年度福島県相双地方防災訓練が鹿島町で実施される。
山之内製薬株式会社より救急自動車(ニッサン 2 B 型) 1 台が寄贈され、小高分署に配置する。
小高分署で救急業務を開始する。

1984

- 昭和 5 9 . 1 消防無線電話基地局 2 基（新地分署、飯館分署）、移動局 1 基、携帯局 1 0 基を整備する。
- 2 相馬地方婦人消防大会が小高町で開催される。
- 6 鹿島町藤加工所より救難用ゴムボートが寄贈され、鹿島分署に配置する。
相馬地方広域消防職員観閲式を実施する。
- 1 0 救急自動車（トヨタ 2 B 型）を 1 台購入し、鹿島分署に配置する。
鹿島分署で救急業務を開始する。
- 1 1 消防ポンプ自動車（トヨタ BD 1 型）を購入し、鹿島分署に配置（更新）する。

1985

- 昭和 6 0 . 2 日本自動車工業会より救急自動車（トヨタ 2 B 型）が寄贈され、新地分署に配置する。
新地分署で救急業務を開始する。
- 4 組織機構改革し、相馬消防署に鹿島分署、新地分署を、原町消防署に小高分署、飯館分署を編入する。
職員定数条例を一部改正、2 名の増員を図り 1 3 0 名とする。
- 8 救命ボートを購入し、相馬消防署に配置する。
- 1 1 相馬地方幼年消防大会が原町市（県営原町体育館）で開催される。
- 1 2 指令車（ニッサンローレル）を購入し、消防本部に配置（更新）する。
指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、原町消防署に配置(更新)する。

1986

- 昭和 6 1 . 8 日本消防協会より救急自動車（トヨタ 2 B 型）が寄贈され、原町消防署に配置する。

1987

- 昭和 6 2 . 1 消防無線電話 2 基購入、救急自動車（原町消防署）、器具搬送車(相馬消防署)に配置する。
相馬地方奥様防災博士連絡協議会が設立される。
- 3 消防本部前庭に救助訓練塔を設置する。
- 4 第 6 代消防長に鈴木一男が就任する。
- 8 第 17 回福島県下消防職員親善卓球大会が原町市（県営原町体育館）で開催される。
- 1 0 指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、相馬消防署に配置(更新)する。
- 1 1 消防無線電話移動局 3 基購入、指揮車(原町消防署)、器具搬送車（原町消防署）、水槽付消防ポンプ自動車(鹿島分署)に装備する。

1988

- 昭和 6 3 . 1 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ、水槽 2,000 ㍓）を購入し、相馬消防署に配置(更新)する。
- 3 相馬地方危険物安全協会が設立される。
- 8 相馬消防署新地分署車庫に防寒防犯のためのシャッターを取り付ける。
- 1 0 原町市幼年消防大会が県営原町体育館で開催される。
相馬地方婦人消防隊連絡協議会が設立される。
- 1 1 福島県相双地方総合防災訓練が飯館村で実施される。

	1 2	救助工作車（いすゞⅡ型）を購入し、原町消防署に配置（新規）する。	
平成 元.	3	福島県共済農業協同組合連合会より救急自動車（ニッサン2 B型）が寄贈され、原町消防署に配置する。	1989
	5	第4 2回福島県下消防大会が原町市で開催される。	
	6	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）2台を購入し、相馬消防署新地分署、原町消防署小高分署に配置（更新）する。	
	8	財団法人日本消防協会より指揮兼広報車が寄贈され、消防本部に配置する。	
平成 2.	2	消防無線電話移動局2基購入し、水槽付消防ポンプ自動車（相馬消防署）と指揮兼広報車（相馬消防署鹿島分署）に配置する。	1990
	3	財団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱、水槽2,000ℓ）が寄贈され、原町消防署に配置（更新）する。	
	4	第7代消防長に佐藤芳夫が就任する。	
	7	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）2台を購入し、相馬消防署、原町消防署飯館分署に配置（更新）する。	
	8	平成2年度福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。	
	9	財団法人日本防火協会より防火広報車（ニッサンキャラバン）が寄贈され、消防本部に配置する。	
		救急自動車（2 B型4WD）を購入し、原町消防署飯館分署に配置（更新）する。	
	1 0	第9回県下消防職員親善野球大会が原町市で開催される。	
	1 1	相馬地方母と子の防火大会が原町市（県営原町体育館）で開催される。	
平成 3.	6	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。	1991
	1 0	救助工作車（三菱Ⅱ型）を購入し、相馬消防署に配置（新規）する。	
平成 4.	2	相馬地方消防設備保守協会15周年記念式典が原町市で開催される。	1992
		福島総合警備保障株式会社より防火広報車1台が寄贈され、原町消防署に配置する。	
	4	職員定数条例を一部改正、3名を増員し133名とする。	
	6	指揮兼広報車（トヨタカローラバン）を購入し、消防本部に配置する。	
		消防本部指揮兼広報車を原町消防署に配置替えする。	
	8	平成4年度福島県総合防災訓練が原町市で実施される。	
	1 0	消防ポンプ自動車（三菱CD1型）2台を購入し、相馬消防署、原町消防署に配置（更新）する。	
		消防無線電話移動局5基を購入し装備する。	
	1 1	完全週休2日制の実施を開始する。	
	1 2	30日相馬消防署勤務の大井利文消防司令補が救急現場にて殉職する。	
平成 5.	1	故大井利文消防司令長の相馬地方広域市町村圏組合告別式が鹿島町勝縁寺で執り行われる。	1993
	2	高圧空気充填機を購入し、消防本部に配備する。	
		日本自動車工業会より救急自動車（ニッサン2 B型4WD）が寄贈され、相馬消防署に配車（更新）する。	
	3	高度救急資器材一式を購入し、原町消防署に配備する。	
	4	第8代消防長に只野清治が就任する。	
		職員定数条例を一部改正、8名増員し141名とする。	

	7	高度救急資器材一式を購入し、相馬消防署に配備する。 救助隊管理者査閲を実施する。	
	1 0	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置する。 化学消防ポンプ自動車（三菱Ⅱ型、水槽 1,300 ㍓、泡原液 500 ㍓）を購入し、原町消防署に配置（更新）する。 平成 5 年度福島県相双地方総合防災訓練が新地町で実施される。	
	1 2	原町消防署に緊急自動車出動表示灯を設置する。	
平成 6.	1	救急自動車（ニッサン 2 B 型 4 WD）を購入し、原町消防署小高分署に配置（更新）する。	1994
	3	消防無線電話基地局 1 基、携帯無線局 3 基を更新配備する。	
	4	職員定数条例を一部改正、6 名増員し 1 4 7 名とする。	
	1 0	水槽付消防ポンプ自動車（三菱、水槽 2,000 ㍓）を購入し、原町消防署小高分署に配置（更新）する。 消防ポンプ自動車（三菱 C D - 1 型）を購入し、相馬消防署に配置（更新）する。	
	1 2	故大井利文消防司令長の顕彰碑を建立する。	
平成 7.	2	高度救急資器材一式を購入し、原町消防署飯館分署に配備する。 消防無線電話移動局 3 基、携帯無線局 3 基を更新装備する。	1995
	4	救急救命士（草刈 薫）第 1 号が誕生する。	
	8	第 2 0 回県下消防職員予防、警防、救急実務研究会が開催される。	
	1 0	平成 7 年度福島県相双地方総合防災訓練が小高町で実施される。 水槽付消防ポンプ自動車（日野、水槽 2,000 ㍓）を購入し、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。 消防ポンプ自動車（三菱 C D 1 型）を購入し、原町消防署小高分署に配置（更新）する。 高度救急資器材一式を購入し、原町消防署小高分署に配備する。	
	1 2	福島県緊急消防援助隊を編成する。	
平成 8.	2	消防無線電話基地局 2 基、移動無線局 2 基、携帯無線局 3 基を購入し、更新配備する。	1996
	4	第 9 代消防長に新谷榮正が就任する。 消防本部の機構改革を実施し、総務課に総務係と企画調整係、予防課に予防係と危険物係、警防課に警防救急係と通信指令係を設け 3 課 6 係とする。 救急救命士に 1 人（菅野忠孝）が合格、計 2 人となる。	
	6	永井清美氏（相馬市）を第 1 号民間応急手当指導員に認定する。	
	7	相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。	
	9	救急応急手当指導発表会を開催する。	
	1 1	第 1 2 回福島県防火大会が原町市で開催される。 平成 8 年度福島県相双地方総合防災訓練が鹿島町で実施される。 消防ポンプ自動車（三菱 C D 1 型）2 台を購入し、原町消防署、相馬消防署新地分署に配置（更新）する。 救急救命士に 2 人（高倉健一、小谷津芳秀）が合格、計 4 人となる。 相馬（市）消防署発足 4 0 周年。	
平成 9.	2	消防無線電話基地局 1 基、移動無線局 3 基、携帯無線局 3 基を購入し、	1997

更新配備する。

救急自動車（ニッサン 2 B 型）を購入し、相馬消防署鹿島分署に配置(更新)する。

- 3 高度救急資器材一式を購入し、相馬消防署鹿島分署に配備する。
- 5 福島県共済農業協同組合連合会より、救急自動車(トヨタ 2 B 型) 1 台が寄贈され、相馬消防署新地分署に配置する。
- 6 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
- 1 0 高度救急資器材一式を購入し、相馬消防署新地分署に配備（更新）する。
- 1 1 消防本部旗が寄贈される。
消防ポンプ自動車（三菱 C D 1 型） 2 台を購入し、相馬消防署鹿島分署、原町消防署飯館分署に配置(更新)する。
救急救命士に 1 人（太田秀明）が合格、計 5 人となる。

平成 1 0 .

- 1 消防無線電話基地局 1 基、移動無線局 3 基、携帯無線局 3 基を購入し、更新配備する。
福島県消防防災航空隊員として 1 名（高橋友幸）を事前派遣する。
- 4 職員定数条例を一部改正、1 名増員し 1 4 8 名とする。
福島県消防防災航空隊員として 1 名（高橋友幸）を派遣する。
相馬地方広域市町村圏組合職員章が制定され、全職員に貸与する。
- 5 第 5 1 回福島県下消防大会が相馬市で開催される。
- 6 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
- 7 救急救命士に 1 人（河村幸一郎）が合格し、計 6 人となる。
- 9 救急救命シミュレーション発表会を原町市で開催する。
指揮兼広報車（トヨタカローラバン） 2 台を購入し、相馬消防署、原町消防署に配置(更新)する。
- 1 0 応急手当指導員養成講習会を開催、職員全員が資格を取得する。
- 1 1 救急救命士に 1 人（高原和博）が合格、計 7 人となる。
- 1 2 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）、高度訓練用救急資器材一式を購入し、原町消防署に配置、運用を開始する。
消防無線電話全局の呼び出し名称を改正、運用開始する。

1998

平成 1 1 .

- 4 第 1 0 代消防長に萩原勝が就任する。
救急救命士に 1 人（五賀和広）が合格、計 8 人となる。
- 6 指揮兼広報車（ホンダパートナー 4 WD） 2 台を購入し、相馬消防署新地分署、原町消防署小高分署に配置(更新)する。
相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
連絡車（ホンダライフ）を購入し、消防本部に配置（新規）する。
- 8 ポケットベルを全職員が携帯し、運用を開始する。
- 9 福島県消防緊急援助隊集結野営訓練に消火部隊 1 隊が参加する。
第 1 回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 1 0 第 1 9 回全国豊かな海づくり大会が相馬市で開催され、消防特別警備隊を編成する。
平成 1 1 年度福島県相双地方総合防災訓練が飯館村で実施される。
- 1 2 新地分署に出動表示灯を設置する。
コンピューター西暦 2000 年問題に係る危機管理体制を配備する。

1999

平成 1 2 .

- 1 火災撲滅運動の一環として、相馬地方全世界に「無火災宣言の家」ス

2000

- テッカーを配布する。
- 3 消防無線電話中継施設を鹿島町に設置し、不感地帯の解消を図る。
財団法人日本消防協会から救急自動車（ニッサン 2 B 型）が寄贈され、原町消防署飯館分署に配置（更新）する。
 - 4 第 1 1 代消防長に米山光喜が就任する。
財団法人日本消防協会に実務研修として 1 年間、職員 1 名（高野孝一）を派遣する。
 - 6 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
 - 7 指揮兼広報車（ホンダパートナー 4 WD） 2 台を購入し、相馬消防署、原町消防署飯館分署に配置（更新）する。
あぶくま信用金庫 5 0 周年記念事業で、心肺蘇生法訓練用人形 6 体が寄贈される。
 - 8 平成 1 2 年度福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。
 - 9 第 2 回救急シンポジウムを原町市で開催する。
 - 1 0 社団法人日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車（三菱）が寄贈され、相馬消防署に配置（新規）する。
 - 1 2 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）と高度訓練用救急資器材一式を購入し、相馬消防署に配置する。

平成 1 3 .

- 2 救急救命士に 1 人（米本民男）が合格、計 9 人となる。
- 3 相馬消防署に車庫を新築する。
- 4 機構改革により 4 分署の副分署長制を廃止、当直司令 2 名体制とする。
- 5 相馬地方広域消防管理者査閲を実施する。
飯館村建物火災を福島県消防防災ヘリコプターが発見、通報する。
- 6 指揮兼広報車（ホンダシビック、パートナー 4 WD） 3 台を購入し、消防本部、原町消防署、相馬消防署鹿島分署に配置（更新）する。
- 9 第 4 1 回福島県消防協会相馬支部幹部大会の席上、消防団幹部（班長以上の階級で 3 年以上勤続者）に防火管理者認定証を交付する。
第 3 回救急シンポジウムを原町市（サンライフ原町）で開催する。
- 1 0 第 2 0 回福島県下消防職員親善野球大会が鹿島町で開催される。
- 1 1 原町市立病院から福島県立医大まで、福島県消防防災ヘリコプターにより救急患者を初めて搬送する。
福島県消防防災ヘリコプターによる救急患者搬送現場検証訓練を実施する。

2001

平成 1 4 .

- 1 相馬消防署に出動表示灯を設置する。
- 4 救急救命士 1 人（佐々木弘光）が合格、計 1 0 人となる。
- 5 相馬地方広域消防発足 3 0 周年記念管理者査閲を実施する。
災害用エア Tent を購入し、消防本部に配備する。
- 9 第 4 回救急シンポジウムを相馬市（はまなす館）で開催する。
救急自動車（トヨタ 2 B 型 4 WD）を購入、原町消防署に配置（更新）する。
- 1 0 平成 1 4 年度相双地方総合防災訓練が新地町で実施される。
- 1 1 相馬地方自主防災組織推進大会を原町市スポーツセンターで開催する。
相馬地方広域消防 3 0 周年式典を原町市で開催する。
相馬地方広域消防発足 3 0 周年記念誌「相馬広域消防のあゆみ」を発刊する。

2002

平成 1 5 .

- 1 相馬地方広域消防水難救助隊が 3 7 名で発足する。
- 2 水難救助隊用ウェットスーツ 6 着他水難救助用資機材を購入、相馬、原町両署に配備

2003

する。

- 4 第12代消防長に木村健次郎が就任する。
福島県消防防災航空隊に消防士長 武田真弘を派遣する。
救急救命士1人(大河内敏栄)が合格、計11人となる。
- 5 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 7 災害救援車(ニッサンシビリアン)を購入し、消防本部に配置する。
双葉地方広域市町村圏組合消防本部と合同研修会を開催する。
- 8 福島県緊急消防援助隊集結訓練、福島県総合防災訓練が原町市で開催される。
- 9 第5回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 パソコンによる消防ネットワークシステムの運用を開始する。
- 11 福島県消防長会主催第1回消防職員駆伝大会で当本部が優勝する。

平成16.

- 3 現場指揮に関する職員研修会を開催する。
- 5 救急救命士に1人(大洲紀一)が合格、計12名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 7 双葉地方広域市町村圏組合消防本部と合同研修会を浪江町で開催する。
- 9 第6回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 新潟中越地震災害に緊急消防援助隊2隊7名が初出動する。
原町消防署飯館分署に高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を配置(新規)する。
- 11 救急救命士に1人(庄司智久)が合格、計13人となる。
福島県消防長会主催第2回消防職員駆伝大会で当本部が優勝する。

2004

平成17.

- 2 福島県消防職員意見発表大会で林貴之副士長が最優秀賞となる。
- 4 第13代消防長に渡部和俊が就任する。
福島県消防防災航空隊に消防士長 小林友樹を派遣する。
「焼死者火災多発警報」を発令し特別警戒体制をとる。
(3月から4月に火災多発、死者7名、火傷者4名)
救急救命士に1人(小泉英明)が合格、計14名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
- 7 相馬地方震災対策推進会議を開催する。
- 8 16日宮城県沖を震源とする震度5強の地震発生により非常配備体制を発令する。
- 9 第7回救急シンポジウムを原町市で開催する。
- 10 救助工作車(日野)を購入し、原町消防署に配置する。
相馬、双葉職員合同研修及び交流会を実施する。
- 11 仙台市から「地震防災アドバイザー」京栄二郎氏を講師に招き防災講演会を開催する。
救急救命士に1人(志賀 毅)が合格、計15名となる。
- 12 水槽付消防ポンプ自動車(日野、水槽2,000ℓ)を購入し、相馬消防署に配置する。

2005

平成18.

- 1 原町市、小高町、鹿島町が合併して南相馬市が誕生したことにより
原町消防署の名称が南相馬消防署に変更される。
また、南相馬消防署所轄の分署とともにその名称も変更される。
南相馬消防署小高分署、南相馬消防署鹿島分署、南相馬消防署飯館分署
- 2 携帯119番の受信を開始する。
- 3 河村幸一郎救命士が薬剤投与実施の救命士に認定第1号となる。
庄司智久救命士が気管挿管病院の実習を修了第1号となる。

2006

- 4 講師を招き職員教養（原子力防災について）を南相馬市鹿島区で開催する。
救急救命士に1人（岡 裕一）が合格、計16名となる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
相馬地方防火安全協会が結成発足される。
- 9 第8回救急シンポジウムを相馬市で開催する。
- 10 双葉地方広域市町村圏組合消防本部と合同研修会を浪江町で開催する。
- 11 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、南相馬消防署小高分署に配置する。

-
- 平成19. 2 住宅用火災警報器設置推進大会を南相馬市鹿島区で開催する。
- 4 救急救命士に2人（濱名 修、梅田真史）が合格、計18名となる。
 - 5 福島県消防殉職者慰霊祭及び第60回福島県消防大会が南相馬市で開催される。
平成19年度福島県水防訓練が南相馬市鹿島区（真野川河川敷）で実施される。
 - 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
 - 8 地震災害対応訓練を実施する。
 - 9 第9回救急シンポジウムを南相馬市で開催する。
指令車（トヨタプリウス）を購入し、消防本部に配置（更新）する。

2007

-
- 平成20. 1 福島県ドクターヘリが運用開始され、当本部管内の労災事故で県内
初出動の要請となる。
- 2 水槽付消防ポンプ自動車（日野、水槽2,000ℓ）を購入し南相馬消防署に配置（更新）する。
内外部講師による職員研修を南相馬市鹿島区で開催する。
 - 4 第14代消防長に井上秀雄が就任する。
救急救命士に2人（鈴木伸洋、田村英二）が合格、計20名となる。
化学災害対応のため活動要領と防護資機材の取り扱いについて研修会を2回実施する。
 - 6 相馬地方広域消防検閲式を実施する。
14日午前8時43分に岩手・宮城内陸地震（震度6強）が発生し、緊急消防援助隊（4隊15名）が岩手県一関市（1泊）へ出動する。
 - 7 24日午前0時26分に岩手県沿岸北部地震（震度6強）が発生し、緊急消防援助隊（2隊7名）が岩手県盛岡市へ出動する。
地震当日開催予定の第37回東北支部消防救助技術指導会（青森市）が、地震発生のため中止となり、参加予定のロープブリッジ救出チームが青森市から帰ることとなる。
相馬地方震災対策推進会議を開催する。
 - 9 第10回救急シンポジウムを南相馬市鹿島区で開催する。
 - 12 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、南相馬消防署鹿島分署に配置する。

2008

-
- 平成21. 2 (財)日本消防協会理事長秋本敏文氏（元消防庁長官）を招き、消防
職団員を対象とした防災講演会が開催される。
- 3 第15代消防長に森茂雄が就任する。
福島県消防防災航空隊に消防士長 中里岳文を派遣する。
（株）近代消防社代表取締役三井栄志氏を招き、消防職員研修会（防災講演）及び防災懇談会（近代消防掲載記事インタビュー）を開催する。
救急OAシステムが導入され運用開始する。

2009

救急救命士に2人（菅野茂則、菊地隆史）が合格、計22名となる。

- 6 相馬地方広域消防検閲式を計画したが、雨により中止となる。
- 8 消防ネットワークシステムのサーバー1台を更新、1台増台し2台で運用する。
- 9 第11回救急シンポジウムを相馬市で開催する。

平成22.

- 1 相馬消防署新庁舎の落成式（20日）及び開署式（22日）が挙行される。

2010

※平成21年3月27日着工、平成21年12月28日竣工

- 2 消防ポンプ自動車（日野）を購入し、南相馬消防署に配置（更新）する。
- 3 南相馬消防署小高分署新庁舎の落成式（27日）及び開署式（30日）が挙行される。

※平成21年5月29日着工、平成22年2月23日竣工

- 4 第16代消防長に山田 敏が就任する。

救急救命士に2人（杉 幸一、渡邊 亮）が合格、更に、専門学校で養成を受けた後に消防職員を拝命した1人（桑折健志）が合格し、計25名となる。

- 6 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し、南相馬消防署に配置（更新）する。

相馬地方広域消防検閲式を計画したが、雨により延期する。

- 9 福島県緊急消防援助隊集結訓練、福島県総合防災訓練が相馬市で実施される。
第12回救急シンポジウムを南相馬市で開催する。

- 10 福島県相双地方（新地町）総合防災訓練が新地町役場周辺で開催される。

- 11 相馬地方広域消防検閲式を実施する。

北海道・東北ブロック緊急消防援助隊訓練が郡山市で開催される。

住宅防火対策推進シンポジウムを南相馬市鹿島区のさくらホールにおいて開催する。

平成23.

- 1 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、相馬消防署新地分署に配置（更新）する。これで、全所属に高規格救急自動車が配備となる。

2011

- 2 新潟県小千谷市消防団長金子正男氏を招き、消防職団員を対象とした防災講演会を開催する。

- 3 11日（金）14：46東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生

14：49～大津波警報発令、15：40～大津波発生（相馬市9.3m）

※震源地～三陸（牡鹿半島）沖約130km、深さ24km、マグニチュード9.0、

震度～新地町6強、相馬市・南相馬市・飯館村6弱（最高震度～栗原市7）

各地で死傷者が発生し、緊急消防援助隊、県内応援隊を要請する。

地震と津波の影響で東京電力福島第一原子力発電所が水素爆発を起こし、放射性物質が大気中に放出されたことにより、当該発電所から半径20km圏内（南相馬市小高区、南相馬市原町区の一部）が避難指示となり、南相馬消防署小高分署は、その機能を南相馬消防署へ移転する。

20から30km圏内が屋内退避となる。

- 4 救急救命士（横山良平）が合格し、計26名となる。

退職予定の所属長4名（加藤警防課長、齋藤相馬署長、佐藤南相馬署長、森小高分署長）は大地震のため、嘱託職員としてさらに2ヶ月間雇用することとなった。

計画的避難区域に飯館村全域が、緊急避難準備区域に20Kmから30Km圏内が設定される。

- 5 嘱託職員4名の離任式を行う。

- 6 平成23年度相馬地方広域消防辞令交付式を行う。
救助工作車（相馬消防署）・高規格救急自動車（横浜市長から寄贈（無償譲渡））の交付・配車式を行う。
- 8 ㈱タダノよりクレーン付4tトラックが寄贈され消防本部に配置する。
- 9 東日本大震災により平成23年救急救命士国家試験を受験できなかった者に対しての追加試験があり、救急救命士（遠藤洋）が合格し、計27名となる。
30日「緊急時避難準備区域」が解除される。
- 10 東日本大震災に伴う消防活動検証の結果を消防長に答申する。
- 12 相馬地方地震対策計画の一部を見直す。

平成24.

- 1 18日東日本大震災福島県消防殉職者慰霊祭が南相馬市民会館「ゆめはっと」で開催される。
- 2 児玉龍彦東京大学教授を招いて「放射線と健康障害」の職員研修を原町区福祉会館で開催する。
- 3 相馬地方地震対策計画に基づく地震対策訓練を実施する。
- 4 職員定数条例を一部改正し、消防職員定数152名とする。
新規採用職員で、初の女性消防職員1名（救急救命士の資格有）が採用され、救急救命士が計28名となる。
3月28日にJA共済連福島より高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、相馬消防署に配置する。
常磐自動車道の南相馬ICから相馬IC間が開通となる。
16日に小高区の警戒区域解除、避難指示区域の見直しにより、昨年3月14日から閉庁していた南相馬消防署小高分署の通常業務を開始する。
福島県消防学校へ教官として櫻井正貴消防士長を派遣する。（平成26年3月31日まで）
- 5 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し、大津波で全損した相馬消防署高規格救急自動車に替え配置（更新）する。
横浜市長から寄贈（無償譲渡）された高規格救急自動車を消防本部に予備車として配置する。尚、平成24年度から常磐自動車道の一部開通により、高速道路救急対応救急車1台増車・救急隊1隊増隊し、救急車9台（本部配置予備車1台含む）、救急隊8隊（相馬消防署は救急隊1隊から2隊に増隊）による運用となる。
- 7 17日に飯舘村は区域再編により、計画的避難区域から帰還困難区域、居住制限区域、避難解除準備区域の3区域に見直される。
- 9 第13回救急ジンポジウムを南相馬市で開催する。
11日に福島県警と合同捜索を実施する。（相馬、南相馬警察署管内）
12、13日警戒区域等における大規模林野火災を想定した訓練を実施する。

2012

平成25.

- 2 消防庁国民保護・防災部防災課消防団専門官 青木浩氏を招いて、消防職団員を対象とした平成24年度消防関係者防災研修会をさくらホールで開催する。
第36回福島県消防職員意見発表会で、相馬消防署新地分署寺島政和士長が最優秀賞となる。
- 3 相馬地方地震対策計画に基づく地震対策訓練を実施する。
鹿島駅構内でJR、警察、消防合同でJR列車事故対応訓練を実施する。

2013

1 1、1 3日に福島県警と合同捜索を実施する。(南相馬警察署管内)
消防ポンプ自動車(CD-1)を1台購入し相馬消防署に配備(更新)する。

2 7日に消防救急デジタル無線開通式を消防本部会議室で開催する。

4 1日から消防救急デジタル無線が正式運用開始となる。

救急救命士に2人(伊藤友英、但野 充)が合格、更に専門学校で養成を受けた後消防職員を拝命した1人(遠藤好彦)が合格し、計31名となる。

消防救急デジタル無線立石山中継所への落雷により電源設備等が破損する。

5 南相馬市消防・防災センター(消防本部・南相馬消防署併設)の建設が着工となる。
全国消防長会東北支部総会が岩手県盛岡市で開催され、席上第36回全国消防長会東北支部意見発表があり、福島県代表として寺島政和消防士長が出場する。

飯舘村で実施された多数傷病者対応訓練(DMAT訓練)に参加。

6 相馬地方広域消防職員研修会「公務員の倫理等に関する研修」を道の駅南相馬で開催する。

7 天皇皇后両陛下の飯舘村行幸啓に際し、有事に備えた救急隊増隊を実施する。

9 多数傷病者事故対応訓練を南相馬(ダイユエイト駐車場)及び相馬(相馬消防署)で実施する。

第14回救急シンポジウムを相馬市はまなす館で開催する。

1 1 東京ドームで開催された消防団120年・自治体消防65周年記念大会に出席する。

平成26.

2 豪雪により、国道115号線や県道原町・川俣線が通行止めとなり

2014

相馬地方が孤立。勤務交代できず南相馬消防署飯舘分署で待機する職員あり。

消防職団員を対象とした平成25年度消防関係者防災研修会を「さくらホール」で開催予定であったが、中通りが豪雪の為東北新幹線が運休。東京から来福予定の講師が到着できず中止となる。

3 相馬地方地震対策計画の基づく地震対策訓練を実施する。

鹿島駅構内でJR、警察、消防合同でJR列車事故対応訓練を実施する。

1 1日に福島県警と合同捜索を実施する。(南相馬警察署管内)

4 第17代消防長に草刈 薫が就任する。

職員定数条例を一部改正し、消防職員定数148名とする。

救急救命士に2人(佐藤 学、林 貴之)が合格し、計33名となる。

福島県消防学校へ教官として庄司栄伸消防司令補を派遣する。(平成28年3月31日まで)

6 第37回福島県消防救助技術大会において、草野隆洸消防副士長(ロープブリッジ渡過)、佐藤弘隆消防副士長、佐藤貴洋消防副士長(ロープ応用登はん)が第1位となり第43回全国救助技術大会に出場を決める。(8月20日広島県に発生した土砂災害対応のため、8月27日の全国大会は中止となった。)

地方公務員災害補償基金による職員のためのメンタルヘルスセミナーを2日間にわたり道の駅南相馬で開催する。

7 飯舘村草野小学校グラウンドにおいて、第39回相馬地方消防操法大会を開催する。

8 東日本大震災以後、被災者に対し免除してきた消防手数料徴収を開始する。

9 第15回救急シンポジウムを南相馬市さくらホールで開催する。

震災後、許可車両以外通行止めとなっていた国道6号線は、一般車(自動車のみ)の通行が可能となる。

- 1 0 指揮兼広報車（トヨタラッシュ）を3台購入し、相馬消防署、南相馬消防署、南相馬消防署飯館分署に配備（更新）する。
- 1 1 飯館村須萱地内において、避難区域内における大規模火災対応訓練を開催する。
双葉地方広域市町村圏組合消防本部との合同で常磐道現地調査を実施する。
亘理地区行政事務組合消防本部との合同で常磐道事故対応訓練を宮城・福島県境で実施する。
新地町農村環境改善センターにおいて、第38回相馬地方広域消防職員意見発表会を開催する。
- 1 2 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 高久警防課長を講師に迎え、高速道事故対応研修会を開催する。
常磐自動車道浪江IC以北が開通する。
消防ポンプ自動車（CD-1 CAFS付）を1台購入し新地分署に配備（更新）する。

- | | | |
|-------|---|-------------|
| 平成27. | <ul style="list-style-type: none"> 1 高機能消防指令施設仮運用、南相馬市消防・防災センターにおいて業務を開始する。 2 防災システム研究所山村武彦氏を招き、消防職団員を対象とした平成26年度消防関係者防災研修会を南相馬市さくらホールで開催する。
常磐自動車道南相馬鹿島スマートICが開通となる。 3 常磐自動車道浪江ICから常磐富岡IC間が開通し全線開通となる。
南相馬市消防・防災センター落成式と高機能消防指令施設開通式を、南相馬市と相馬地方広域市町村圏組合の合同で挙げる。（24日） 4 救急救命士に2人（中里岳文、但野賢哉）が合格し、計35名となる。
福島県消防防災航空隊に佐藤彰洋消防士長を派遣する。（平成30年3月31日まで） 5 避難区域大規模火災対応訓練が檜葉町で開催される。 6 相馬地方防火安全協会設立総会が消防本部会議室において開催される。 8 指揮兼広報車（プリウスα ハイブリッドカー）3台を購入し、消防本部、相馬消防署、南相馬消防署へ配備する。
福島県総合防災訓練が雲雀ヶ原祭場地をメイン会場として開催される。 9 標準報酬制度が導入される。
台風17号、18号襲来により消防長特命大雨特別警戒が発令される。
第16回救急シンポジウムを相馬市はまなす館で開催する。 | 2015 |
|-------|---|-------------|

- | | | |
|-------|--|-------------|
| 平成28. | <ul style="list-style-type: none"> 1 小型水槽付消防ポンプ自動車（CD-1 CAFS付）2台と災害救援車を購入し、小型水槽付消防ポンプ自動車は南相馬消防署小高分署、同飯館分署に、災害救援車は消防本部に配置（更新）する。
常葉大学社会環境学部教授重川希志依氏を招き、消防職団員を対象とした平成27年度消防関係者防災研修会を南相馬市さくらホールで開催する。 3 当本部作成の「東日本震災記録～あの日を忘れない～」が完成、関係機関へ配布する。 4 南相馬市原町区大谷地内で発生の建物火災から移行した林野火災は、2日にわたり、3.2haを焼失した。
人事評価制度が開始される。
救急救命士に2人（駒木根孝幸、荒 和久）が合格し、計37名となる。 6 深夜勤務従事者健康診断を実施する。
相馬地方広域消防検閲式を開催する。 | 2016 |
|-------|--|-------------|

- 7 南相馬消防署飯館分署新庁舎の落成式が挙行される。(30日)
※平成27年10月7日着工、平成28年5月31日竣工
- 8 南相馬市原町区北泉での水難事故に対応した海上保安部の小型艇が転覆する多重事故の発生により、当本部から12隊33名が捜索・救助にあたる。
- 9 相馬消防署新地分署新庁舎の落成式が挙行される。(30日)
※平成27年10月20日着工、平成28年9月16日竣工
- 10 ワンデーインターンシップ(女性消防職員採用広報活動)が仙台市で開催され、消防本部として参加する。
- 11 福島県沖地震(マグニチュード7.4 震度5弱)で津波警報が発令。非常配備体制を発令する。
- 12 JR常磐線相馬駅から浜吉田駅間が開通する。
小型水槽付消防ポンプ自動車を購入し、南相馬消防署鹿島分署に配置(更新)する。

-
- 平成29. **2017**
- 1 南相馬市立総合病院脳卒中センターの開所により、センター、消防、ドクターヘリによる連携訓練が開催される。
南相馬市消防団大岩邦子氏、齋藤万喜氏、福島復興局長木幡浩氏を招き、消防職団員を対象とした平成28年度消防関係者防災研修会を南相馬市さくらホールで開催する。
 - 3 化学消防ポンプ自動車(Ⅲ型)1台と多目的消防車(ブーム・小型水槽・CAFS)2台を購入し、化学消防ポンプ自動車は南相馬消防署に、多目的消防車は相馬消防署、南相馬消防署に配置(更新)する。
東北中央自動車道相馬福島道路相馬山上ICから相馬玉野IC間が開通する。
 - 4 第18代消防長に小谷津芳秀が就任する。
救急救命士国家試験に遠藤啓一消防士長、西 悠佑消防士長が合格する。
 - 5 双葉郡浪江町内の十万山で発生した林野火災に、福島県広域消防相互応援協定に基づき職員を派遣する。9日間にわたり、人員延べ90名、車両延べ17台が活動。
 - 6 第40回福島県消防救助技術大会において、佐藤弘隆消防士長、佐藤貴洋消防士長組(ロープ応用登はん)、高橋晃平消防副士長(はしご登はん)が第1位となり、第46回全国大会出場を決める。
 - 7 相馬地方広域消防検閲式を開催する。
 - 8 福島、伊達、安達、相馬の4消防本部で県北・相馬消防連携等推進研究会を設置する。
第46回全国消防救助大会(仙台市)でロープ応用登はんは第3位、はしご登はんは第15位の成績を収める。
 - 9 第18回救急シンポジウムを相馬市はまなす館で開催する。
 - 10 相馬地方広域消防ハラスメント対応委員会を開催する。
 - 12 南相馬消防署鹿島分署新庁舎の落成式が挙行される。(21日)
※平成29年3月29日着工、平成29年11月22日竣工

-
- 平成30. **2018**
- 1 相馬中央病院 坪倉正治氏を招き、消防職団員を対象とした平成29年度消防関係者防災研修会を相馬市民会館で開催する。
 - 2 高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、南相馬消防署に配置(更新)する。
高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)を購入し、南相馬消防署小高分署、同飯館分署に配置(更新)する。

- 3 東北中央自動車道相馬福島道路相馬玉野 I C から霊山 I C 間が開通する。
 県道原町川俣線八木沢トンネルが開通する。
 原子力防災資機材貸与物品としてエアテント一式が配備される。
- 4 警防課通信指令係を3係長制とする。
 福島県消防学校へ教官として庄司智久消防司令補を派遣する。(令和2年3月31日まで)
 救急救命士国家試験に新妻真人消防司令補、佐藤勝亮消防士長が合格する。
- 6 天皇皇后両陛下をお迎えし、第69回全国植樹祭ふくしま2018が原町区萱浜で開催され、会場警備にあたる。
 第41回福島県消防救助技術大会において、久田裕一郎消防士長(ロープブリッジ渡過)が第1位となり、第47回全国救助技術大会に出場を決める。(台風20号の影響により8月24日の全国大会(京都市)は中止となった。)
- 7 相馬地方広域消防検閲式を開催する。
- 8 第41回福島県消防操法相馬地方大会を長友グラウンド(相馬市)で開催する。
- 9 第19回救急シンポジウムを南相馬市さくらホールで開催する。
 県消防学校と連携する消防団員基礎教育Ⅱを消防本部主催で開催する。
- 10 4 消防本部合同集団救急事案対応訓練を小高区減容化施設で開催する。

平成31.

- 1 福島地方気象台次長 松岡稔氏を招き、消防職団員を対象とした平成30年度消防関係者防災研修会をさくらホールで開催する。
 平成30年度第1回ハラスメント対応委員会を開催する。
- 4 救急出場平準化対策のため、所属の配置人員を見直す組織変更を行う。
 救急救命士国家試験に大久保貴司消防士長、牛来浩希消防士長が合格する。
 消防庁長官 黒田武一郎氏の激励視察を南相馬市消防・防災センターで受ける。

2019

令和 元.

- 5 新天皇が即位され、元号が「令和」に改められる。
- 6 相馬地方広域消防検閲式を開催する。
 第42回福島県消防救助技術大会において、堀川和成消防副士長、木幡拓也消防副士長、志賀虎也消防副士長(以上3名:ほふく救出)、角彩路消防士(ロープブリッジ渡過)が第1位となり、第48回全国消防救助技術大会(岡山市)に出場し入賞する。
- 8 令和元年度職員教養を南相馬警察署 刑事課長 横山昭幸氏を招き開催する。
- 9 第49回福島県消防協会相馬支部幹部大会を新地町農村環境改善センターで開催する。
 第20回救急シンポジウムを相馬市はまなす館で開催する。
- 10 台風19号と25日の豪雨により、相馬地方では死傷者や住宅への浸水、浄水施設の被災により長期間の断水が発生する。

令和 2.

- 1 第43回相馬地方消防職員意見発表会を相馬市はまなす館で開催し、
 角彩路消防士が最優秀賞となる。
 ラジオ福島アナウンサー大和田新氏を招き、令和元年度消防関係者防災研修会を南相馬市浮舟文化会館で開催する。
- 3 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により退職職員感謝の集いを中止する。
 感染症拡大防止で6月の東京オリンピック開催が延期となり、南相馬市及び相馬市、飯館村で予定された聖火リレーの警備体制も見送られる。
 救急救命士国家試験に但野恵伸消防司令補、寺島政和消防司令補が合格する。
- 4 第19代消防長に菅野忠孝が就任する。

2020

職員定数条例を一部改正し、消防職員定数152名とする。

再任用職員2名の採用と所属の配置人員を見直す組織変更を行う。

16日全都道府県が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域となる。

新型コロナウイルス対策会議（第1回）を開催し業務継続計画について検討する。

感染症拡大防止対策のため第73回福島県消防大会（主催：（公財）福島県消防協会、共催：相馬地方広域消防本部・福島県消防協会相馬支部）の中止が決定される。

県消防学校が新型コロナ対策のため閉鎖され初任教育学生が一時自宅学習となる。

- 5 緊急事態宣言が解除される。
新型コロナ対策のため第43回福島県消防救助大会が中止となる。（東北地区支部救助指導会、全国救助大会も中止）
- 6 特殊災害対応消防支援車（日野、マルチブーム7ト：消火用タンクコンテナ・救急救助対応用資機材コンテナ）を購入し、南相馬消防署に配車する。
- 8 新型コロナ対策のため第42回福島県消防操法相馬地方大会が中止となる。（福島県消防操法大会、全国消防操法競技大会も中止）
- 9 新型コロナ対策のため第21回救急シンポジウムを中止とする。
- 10 津波・大規模風水害対策車（いすゞ、油圧式マルチゲート：水陸両用車・高機能救命ボート）を総務省より貸与され、相馬消防署に配車する。
消防団員基礎教育Ⅱを相馬市防災備蓄倉庫及び南相馬市消防防災センターで開催する。
新型コロナ対策のため9月から延期の組合職員採用候補者一次試験を消防本部で実施する。
- 11 福島県消防指令センター共同運用検討準備会議の第1回会議が県庁で開催される。
福島県総合防災訓練が福島ロボットテストフィールドで開催される。
- 12 新型コロナ患者移送後の救急隊員のための保養用住戸を、南相馬市の協力で原町区東町に2部屋確保する。

-
- 令和 3. 1 新型コロナ特措法による緊急事態宣言が11都府県に発令され、これ **2021**
に含まれない福島県ではこの間を新型コロナウイルス緊急対策期間とする。（翌月7日
日までが14日までに延長される。）
新型コロナ対策のため第44回相馬地方広域消防意見発表会は中止としたが、動画審
査となり第44回福島県消防職員意見発表会は木幡拓也消防副士長が代表で出場する。
福島地方気象台次長中塚斉氏を招き、令和2年度消防関係者防災研修会を南相馬市さ
くらホールで開催される。
- 2 13日（土）23：07地震発生 津波なし。震源地～福島県沖の深さ55km、
マグニチュード7.3、震度～相馬市・新地町6強、南相馬市6弱、飯舘村5強
（最大震度～6強）これにより相馬市黒木地内の常磐道で大規模な土砂崩れが発生し
上下線が通行止めとなるも負傷者なし。ほか管内で死者はなく負傷者7名を搬送する。
最大震度の相馬市、新地町では多くの建物に被害が発生する。
 - 3 水槽付消防ポンプ自動車（日野、水槽2,100ℓ）を購入し、南相馬消防署に配置（更
新）する。
救急救命士に今野辰彦消防司令補が合格する。
東京オリンピック開催に伴い、聖火リレーがJヴィレッジをスタートし当管内におい
て警備を担当する。
 - 4 第20代消防長に菅原照見が就任する。

- 職員の第1回目新型コロナウイルスワクチン接種が開始される。
- 5 職員の第2回目新型コロナウイルスワクチン接種が開始される。
- 1 3日 e ロボティクスより救急活動中の新型コロナ感染リスク低減のため、可搬型陰圧クリーンドームの寄贈を受け、南相馬消防署に配備する。
- 1 5日から3 1日まで新型コロナウイルス感染拡大により福島県非常事態宣言が発令される。
- 第4 3回福島県消防救助大会が開催され、小野田大士長がロープブリッジ渡過において優勝、ほふく救助において堀川和成士長、木幡拓也士長、菅野勇輝副士長が優勝し全国大会への出場権を獲得する。
- 福島県非常事態宣言発令に伴い、第7 4回福島県消防大会（主催：（公財）福島県消防協会、共催：相馬地方広域消防本部・福島県消防協会相馬支部）の中止が決定される。
- 7 東京オリンピックが開幕し福島県営あづま球場がソフトボール会場となった。消防が警備担当となり、当本部からも派遣した。（2 3日開幕8月8日閉幕）
- 8 8日から3 1日福島県新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用される。
- 9 1日から3 0日福島県新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用される。新型コロナ対策のため第2 1回救急シンポジウムを中止とする。
- 1 0 県消防学校と連携する消防団員基礎教育Ⅱを消防本部主催で開催する。
- 1 1 2 2日高規格救急自動車を購入し、相馬消防署に配置（更新）する。救助技術全国大会が新型コロナの影響を受け中止となる。
- 1 2 7日第4 5回相馬地方広域消防職員意見発表会を開催。菅野勇輝消防副士長が最優秀賞となる。
- 8日令和3年度相馬地方広域市町村圏組合職員教養を開催した。各所属、事務局及び看護学校に対し初のWeb配信を行う。
- 職員の第3回目新型コロナウイルスワクチン接種が開始される。

-
- 令和 4. 1 2 7日福島県新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用される。 **2022**
- 2 福島県新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用により令和3年度消防関係者防災研修会が中止となる。
- 福島県新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用により第4 5回福島県消防職員意見発表会が動画審査となり、第4 5回相馬地方広域消防職員意見発表会において最優秀賞となった菅野勇輝消防副士長が代表で出場する。
- 3 救急救命士に柚原和也消防士長、返見彰消防士長、林雅洋消防士長が合格する。
- 4 第2 1代消防長に太田秀明が就任する。
- 職員定数条例を一部改正し、消防職員定数1 5 6名とする。
- 6 新型コロナウイルス感染症により中止していた第7 5回福島県消防大会が須賀川市において3年振りに開催される。
- 第4 4回福島県消防救助大会が開催され、ロープブリッジ渡過の部で小野田大士長が優勝、ほふく救出の部で志賀虎也副士長、川上浩平副士長、渡部哲志副士長が同じく優勝し第5 0回全国消防救助大会に出場する。また、ロープブリッジ救出の部では、第5 0回東北地区支部消防救助技術指導会へ出場する。
- 7 職員の第4回目新型コロナウイルスワクチン接種が開始される。
- 新型コロナウイルスの影響で第4 4回福島県消防操法相馬地方大会が中止となる。
- 9 令和4年度4消防本部合同訓練が福島ロボットテストフィールドで実施される。

臨床心理士の有園愛氏を招き相馬地方広域消防職員教養を開催し、併せて各所属及び事務局に Web 配信を行う。

- 1 0 消防団員基礎教育Ⅱを相馬市防災備蓄倉庫と南相馬市消防・防災センターで実施する。
- 1 2 職員の第5回目新型コロナウイルスワクチン接種が開始される。
第46回相馬地方広域消防職員意見発表会が消防本部において開催され、草刈悠斗消防士が最優秀賞となる。

-
- | | | | | |
|----|----|---|--|-------------|
| 令和 | 5. | 1 | 会津大学特任教授の屋代眞氏を招き、令和4年度消防関係者防災研修会がサンライフ南相馬において開催される。 | 2023 |
| | | 2 | 第46回福島県消防職員意見発表会が福島市で開催され、草刈悠斗消防士が出場する。 | |
| | | 3 | 災害対応特殊救急自動車（トヨタ 高規格救急自動車）を購入し、南相馬消防署に配置（更新）する。
救急救命士に小岩秀明司令補と岩崎連也士長が合格する。 | |
| | | 4 | 第22代消防長に五賀和広が就任する。 | |

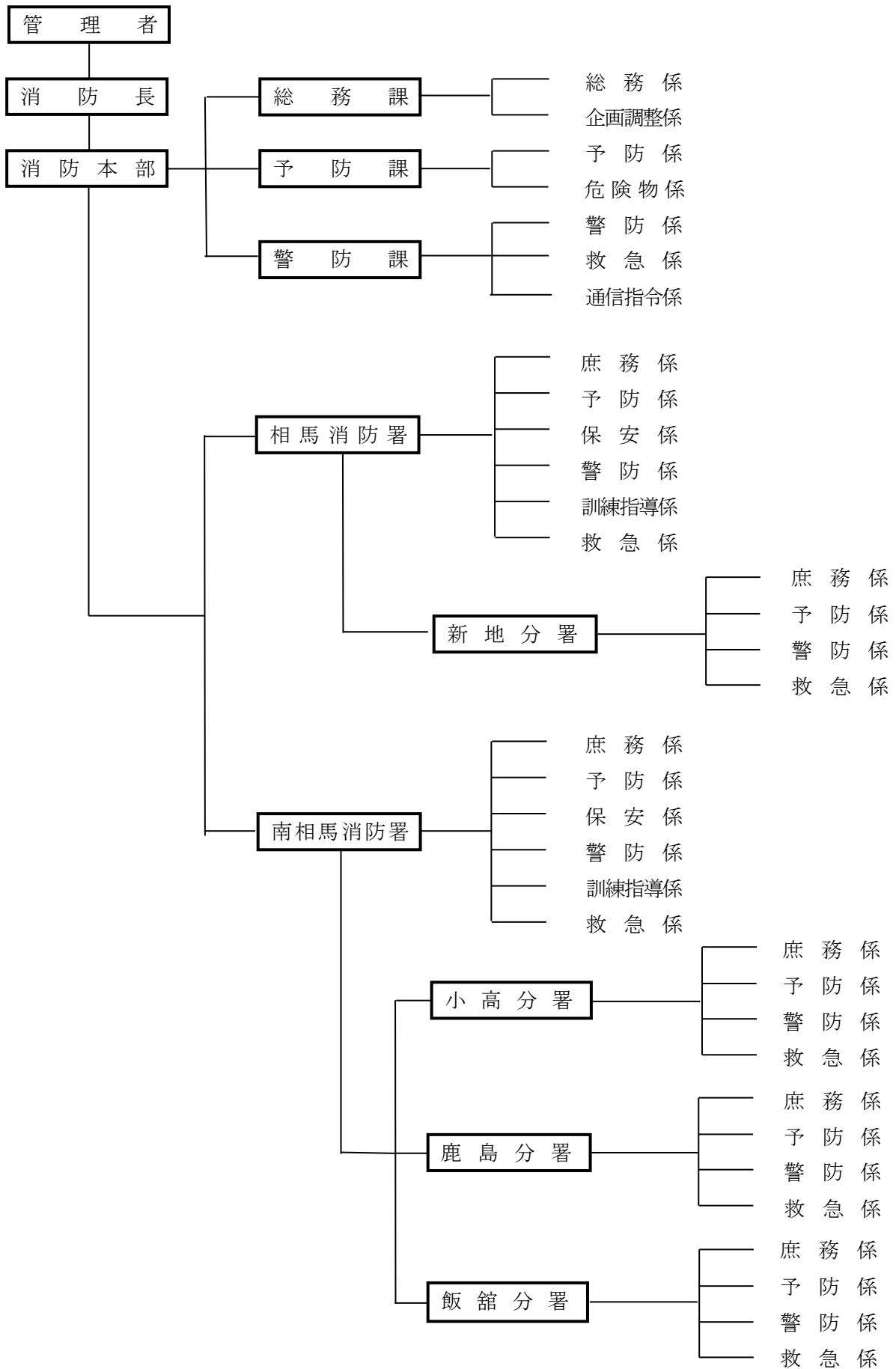
相馬地方広域消防歴代管理者・消防長等一覧表

(令和5年4月1日現在)

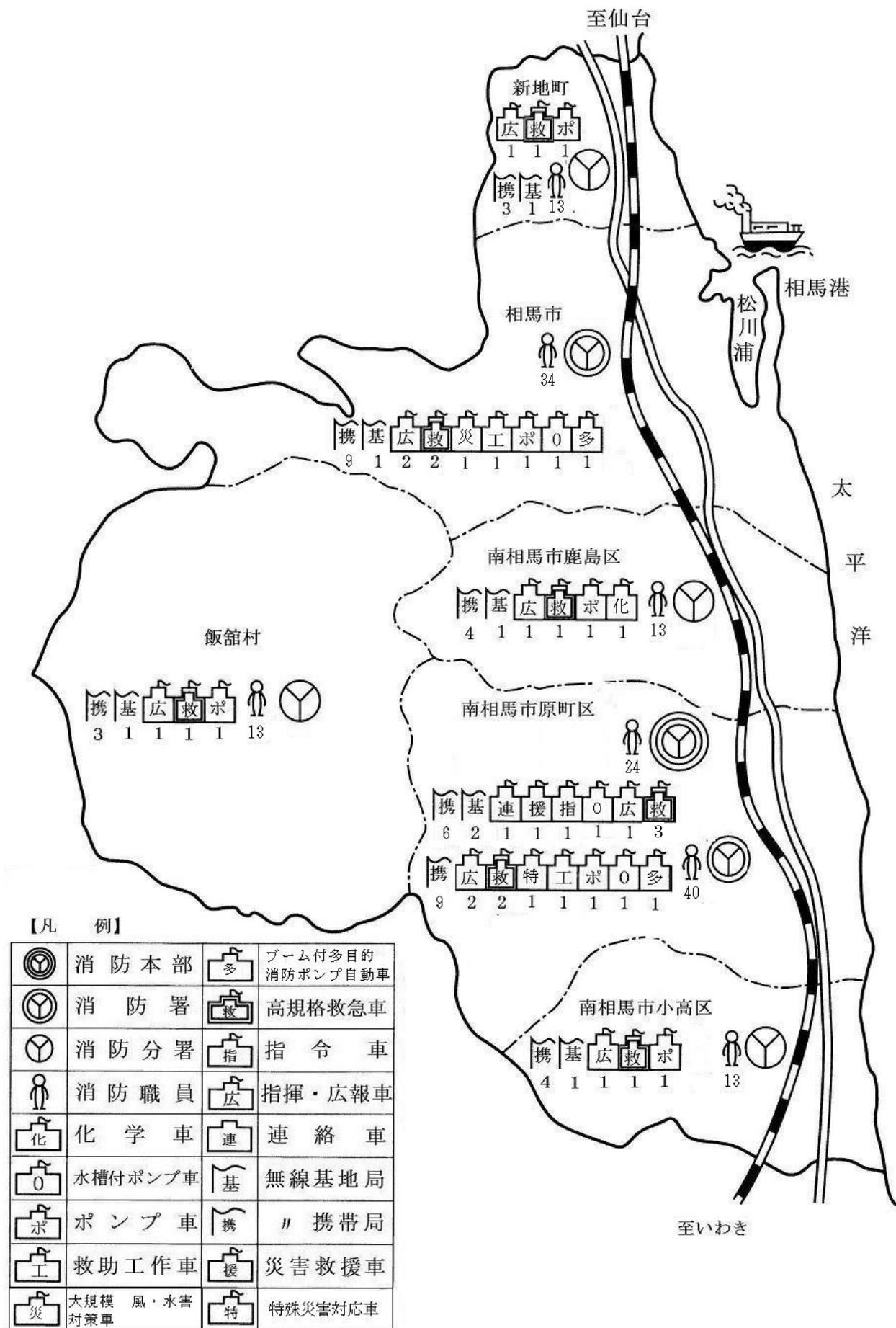
	管理者	消防本部				相馬消防署 署長	原町消防署 署長		
		消防長	次長	総務課長	消防課長				
昭和47年度	山田 貢 (原町市長)	渡邊 清憲	岸 近			泉 茂	打田 勝喜		
昭和48年度		岸 近	打田 勝喜						
昭和49年度	鈴木重郎治 (小高町長)		飯塚 盛男				飯塚 盛男	吉田 信雄	阿部 定雄
昭和50年度									
昭和51年度		吉田 嘉基							
昭和52年度			泉 茂	飯塚 盛男					
昭和53年度	今野 繁 (相馬市長)			泉 茂	吉田 信雄	橋 稔	鈴木 一男		
昭和54年度									
昭和55年度		泉 茂	吉田 信雄	吉田 信雄	佐藤 芳夫	佐藤 芳夫			
昭和56年度									
昭和57年度									
昭和58年度		吉田 信雄	橋 稔	只野 清治	鈴木 一男	只野 清治			
昭和59年度			鈴木 一男	荒 健二郎					
昭和60年度				只野 清治					
昭和61年度						荒 健二郎	鈴木 孝雄		
昭和62年度		鈴木 一男	佐藤 芳夫		佐藤 芳夫				
昭和63年度									
平成元年度									
平成2年度	門馬 直孝 (原町市長)	佐藤 芳夫	荒 健二郎	林 登喜夫	只野 清治		松田 武久	志賀 勝	
平成3年度			只野 清治		本間 健一				
平成4年度					志賀 勝		吉田 博	本間 健一	
平成5年度		只野 清治	林 登喜夫	佐藤 正三	佐藤 正三		米山 光喜	佐藤 正三	
平成6年度				吉田 博	吉田 博				
平成7年度				本間 健一	吉田 博				
平成8年度		新谷 榮正		吉田 博	予防課長	警防課長		本間 健一	
					高野 政利	佐藤 正三			
平成9年度	荒 和英 (新地町長)		佐藤 正三	萩原 勝	吉田 博	木村健次郎	木村健次郎	仲野内 正	
平成10年度			萩原 勝	米山 光喜	番場 秀秋	渡部 喜一			
平成11年度	鈴木 寛林 (原町市長)	萩原 勝	米山 光喜	渡部 喜一	新妻 智	西内 正雄		渡部 和俊	
平成12年度			米山 光喜	渡部 喜一					森 茂雄
平成13年度									
平成14年度	中野 一徳 (鹿島町長)		木村健次郎	渡部 和俊	森 茂雄	井上 秀雄	西内 正雄		
平成15年度			木村健次郎	新妻 智				荒 重徳	
平成16年度				渡部 和俊				荒 重徳	菅野 幸一

	管 理 者	消 防 本 部					相馬消防署 署 長	原町消防署 署 長						
		消 防 長	次 長	総 務 課 長	予 防 課 長	警 防 課 長								
平成 17 年度	中野 一徳 (鹿島町長)	渡部 和俊	井上 秀雄	西内 正雄	菅野 幸一	福島 昭	森 茂雄	小椋 一男						
平成 18 年度								南相馬消防署署長 (以降南相馬消防署になる)						
平成 19 年度								小椋 一男						
平成 20 年度								中塚 章一						
平成 21 年度								渡部 純市						
平成 22 年度	桜井 勝延 (南相馬市長)	山田 敏	高野 孝一	高野 孝一	只野 正夫	加藤 正人	齋藤 岩雄	佐藤 信義						
平成 23 年度							佐藤 久	草刈 薫						
平成 24 年度							佐藤 敬一	菅野 富茂						
平成 25 年度									佐々木久人					
平成 26 年度							佐々木久人	小谷津芳秀	遠藤 吉行					
平成 27 年度								遠藤 吉行						
平成 28 年度							菅野 忠孝	高倉 健一	高倉 健一					
平成 29 年度							菅野 忠孝	菅野 忠孝	菅野 忠孝					
平成 30 年度							門馬 和夫 (南相馬市長)	小谷津芳秀	菅野 忠孝	菅野 忠孝	遠藤 吉行	須田 幸正	菅原 照見	遠藤 吉行
令和 元 年度													菅原 照見	高倉 健一
令和 2 年度	菅野 忠孝	菅原 照見	菅原 照見	太田 秀明	瀬川 隆志	須田 幸正								
令和 3 年度	菅原 照見	太田 秀明	太田 秀明	加藤 英喜	瀬川 隆志	五賀 和広							河村幸一郎	
令和 4 年度	太田 秀明	五賀 和広	五賀 和広			太田 修司								
令和 5 年度	五賀 和広	太田 修司	太田 修司	脇本 昌弘	小泉 英明	高原 和博	佐々木弘光							

相馬地方広域消防組織図



相馬地方広域消防現勢分布図



【凡 例】

	消 防 本 部		ブーム付多目的 消防ポンプ自動車
	消 防 署		高規格救急車
	消 防 分 署		指 令 車
	消 防 職 員		指 揮 ・ 広 報 車
	化 学 車		連 絡 車
	水 槽 付 ポ ン プ 車		無 線 基 地 局
	ポ ン プ 車		// 携 帯 局
	救 助 工 作 車		災 害 救 援 車
	大規模 風・水害 対策車		特 殊 災 害 対 応 車

相馬地方広域市町村圏勢の推移

区 分	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
面 積 (km ²)	873. ¹²	873. ²⁰	873. ²⁰	873. ²⁰	873. ²⁰
人 口	108,670	107,273	105,745	104,283	102,615
世 帯 数	42,883	43,094	43,293	43,351	43,356

(注)人口、世帯数は、4月1日現在の数値

消 防 予 算 の 推 移

区分 年度別	組合総予算額 (当初) 千円	消防費予算額 (当初) 千円	構 成 比 %	消 防 費	
				1世帯当り 円	人口1人当り 円
31	1,616,238	1,453,785	89.95	33,901	13,377
2	1,609,955	1,427,950	88.70	33,136	13,311
3	1,565,278	1,413,166	90.28	32,642	13,364
4	1,541,230	1,394,882	90.50	30,712	13,418
5	1,580,458	1,427,286	90.30	32,920	13,909

消 防 施 設 等 整 備 状 況

※ 1件百万円以上のもの

(令和4年度)

区 分	数量	事業費(千円)	該 当 所 属
災害対応特殊救急自動車 (高規格救急自動車)	一式	34,320	南相馬消防署

消 防 庁 舎

区 分	所 在 地	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	構 造
消 防 本 部	南相馬市原町区高見町一丁目 272	7,561.16	2,792.15	鉄骨造・制震造 3 階建 (平成 27 年建築)
	TEL 0244-22-4164 4165 Fax 0244-22-5790			
相 馬 消 防 署	本 署 相馬市中野字堂ノ前 371-1	3,292.00	1,336.45	鉄筋コンクリート造 2 階建 (平成 22 年建築)
		TEL 0244-36-2181 2182 Fax 0244-35-6474		
	新地分署 相馬郡新地町中島一丁目 1	5,889.6	1,200.63	鉄骨造 2 階建 (新地町防災センター内) (平成 28 年建築)
		TEL 0244-62-2117 2118 Fax 0244-62-5060		
南 相 馬 消 防 署	本 署 消防本部に同じ (南相馬市消防・防災センター内)	TEL 0244-22-2186 2187 Fax 0244-26-0023		鉄骨造・制震造 3 階建 (平成 27 年建築)
		南相馬市小高区本町二丁目 78	1,139.92	
	TEL 0244-44-2212 Fax 0244-44-2080			
	鹿島分署 南相馬市鹿島区江垂字大六天 122	4,380.00	755.55	鉄筋コンクリート造平屋建 (平成 29 年建築)
		TEL 0244-46-5118 5119 Fax 0244-46-1500		
	飯館分署 相馬郡飯館村草野字大師堂 14	1,579.39	430.19	鉄骨モルタル造一部 2 階建 (平成 28 年建築)
		TEL 0244-42-0119 0319 Fax 0244-42-1115		

職 員 配 置 状 況

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

区 分		階級別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
		消 防 本 部	消 防 長	1						
	次 長		1							1
	総 務 課			2	1	1				4
	予 防 課		1	4						5
	警 防 課		1	4	7	1				13
相 馬 消 防 署	本 署		1	6	15	5	5	2		34
	新 地 分 署			6	4	1	1	1		13
南 相 馬 消 防 署	本 署		1	10	11	7	6	5		40
	小 高 分 署			5	5	1	1	1		13
	鹿 島 分 署			6	4	1	2			13
	飯 館 分 署			5	5	1	2			13
計			1	5	48	52	18	17	9	150

階 級 別 年 齢 状 況

(令和5年4月1日現在)

階級別 年齢別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
18才～20才							4	4
21～25						12	4	16
26～30					9	5	1	15
31～35				16	9			25
36～40				18				18
41～45				15				15
46～50			24	3				27
51～55		4	16					20
56才以上	1	1	8					10
計	1	5	48	52	18	17	9	150
平 均	57.0	54.4	51.8	38.7	30.3	24.9	21.6	39.8

職 員 市 町 村 別 居 住 状 況

(令和5年4月1日現在)

階級別 市町村別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
相 馬 市		2	17	21	8	7	3	58
南 相 馬 市	1	2	24	17	8	9	5	66
原 町 区		2	16	14	5	5	4	46
小 高 区			2	1			1	4
鹿 島 区	1		6	2	3	4		16
新 地 町		1	4	5	2	1	1	14
飯 舘 村			3					3
その他	県 内			3				3
	県 外			6				6
合 計	1	5	48	52	18	17	9	150

階級・勤続年数別職員構成

(令和5年4月1日現在)

階級 勤続年数	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総数
	1	5	48	52	18	17	9	150
1年未満							3	3
1年							3	3
2年						2	3	5
3年						4		4
4年						3		3
5年						2		2
6年						3		3
7年					1	1		2
8年					1	1		2
9年					4	1		5
10年				3	5			8
11年				3	3			6
12年				1	3			4
13年				4	1			5
14年				8				8
15年				8				8
16年				4				4
17年				1				1
18年				4				4
19年				3				3
20年				1				1
21年			1	2				3
22年				1				1
23年				2				2
24年			1	2				3
25年			3	1				4
26年			4					4
27年				2				2
28年			1					1
29年			6	1				7
30年		2	10	1				13
31年			7					7
32年		1	1					2
33年		1	3					4
34年		1	2					3
35年								0
36年			1					1
37年			2					2
38年			2					2
39年	1		1					2
40年			2					2
41年以上			1					1

年度別職員研修状況

区 分		平成二五年度	平成二六年度	平成二七年度	平成二八年度	平成二九年度	平成三〇年度	令和元年度	令和二年度	令和三年度	令和四年度
消防大学校等	幹部研修科										
	幹部科		1		1		1				
	予防科					1					
	警防科	1								1	
	救急科			1					1		1
	救助科							1			
救急救命東京研修所		2	2	2	2	2	2	2	1	3	2
福島県消防学校	初任教育	9	6	3	3	3	3	3	4	5	3
	初級幹部科		1		1	1	1	1	1	1	1
	中級幹部科	1		1		1	1		1		
	救急科（救急標準課程）	6	6	6	6	8	6	6	6	6	4
	救命士養成補助教育	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	救急救命士処置拡大講習				4	4	4	3			
	火災調査科		2		2	2	2	2	2	2	2
	救助科		2		2	2	2	2	2	2	2
	警防科			2	2		2		2	2	2
	予防査察科				2		2		2	2	2
	指揮隊長科	2	2	2	2	2	2	2	2		
	通信指令科										2
	放射線基礎研修				6	6	9	7	9		
その他		1	12		12	10	10	2			
病院研修等	気管挿管病院実習（30症例）				1						2
	救急救命士就業前研修				2	3	2	2	2	1	4
	指導者生涯研修				1	1	1	1	1	3	
	救急隊員病院研修				3	3	3	3	3	3	4
	救急救命士生涯研修				5	5	5	5	5	5	5
ビデオ硬性気管挿管実習（5症例）					2						
自治研修センター等	消防救急緊急自動車運転技能者課程			1	1						
	管理者研修（危機管理コース）			1	1	1	1	1	1		1
	管理者研修（マスメディア対応コース）				1	1	1				
	新任係長講座						1	1	2	3	2
	新任管理者講座						1	1	2	3	2
	人事評価制度講座			3	6	6	6	4	4	2	2
	メンタルトレーニング実践講座			2			1	1	1	1	
	住民サービス向上のための接遇実践講座				2	2	2	2	2	2	2
	メンタルヘルス講座（予防編）				2	2	2	2	2		
	メディアトレーニング講座							1	1		
	有事の危機管理講座				1						
	情報セキュリティ対策基礎	2	2								
レジリエンス講座										1	
エクセル講座	2	2									
計		27	29	38	63	71	75	65	63	49	48

職員特殊技能その他の資格取得状況

(令和5年4月1日現在)

		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
大型自動車	2種			1	1				2
	1種	1	5	47	51	18	13		135
中型自動車	2種								
	1種								
中型自動車 (8t限定)	2種								
	1種								
普通自動車	2種								
	1種						4	9	13
自動2輪車			1	23	20	6	1	2	53
大型特殊自動車			2	8	6	2			18
けん引自動車				2	2				4
危険物取扱者	甲種			1	1				2
	乙種	1	1	33	39	11	12	1	98
	丙種		1	4	1			1	7
消防設備士	甲種			3					3
	乙種		1	8	5				14
予防技術資格者	防火			12	19	6	1		38
	設備			11	12	2			25
	危険物		1	7	10	5			23
救急救命士		1	3	22	20	1	2	2	51
救急Ⅱ課程・標準課程			2	24	31	15	15	3	90
救急Ⅰ課程				2					2
特殊無線技士		1	2	28	35	17	17	5	105
アマチュア無線技士				3	1				4
電気工事士		1		1	6	2	1	1	12
ガス溶接			2	15	9	2	2		30
小型船舶操縦士			2	17	18	3	2		42
移動式クレーン特別教育		1	4	41	51	15	4		116
玉掛技能		1	2	39	49	15	2		108
クレーン運転士				1					1
潜水士				2	2				4
高所作業車技能講習			2	6	23	6	2		39
毒・劇物取扱者				1	2				3
車両系建設機械技能講習			3	3	3	1			10
第2種酸欠作業技能講習				5	8				13

消防相互応援協定状況

協 定 機 関	協 定 内 容	協 定 年 月 日
双葉地方広域市町村圏組合	火災救急相互応援	昭和48年4月1日
伊達地方消防組合	火災救急相互応援	昭和48年9月1日
亘理地区行政事務組合	火災救急相互応援	昭和49年1月1日
仙南地域広域行政事務組合	火災救急相互応援	昭和49年6月1日
福島・宮城広域災害時相互応援協定	物資等相互応援	平成8年8月28日
福島地方広域行政圏（17市町村）		
仙南地域広域行政圏（9市町村）		
亘理名取広域行政圏（2市2町）		
相馬地方広域市町村圏組合（6市町村）		
福島・宮城・山形5広域圏災害時相互応援協定	物資等相互応援	平成9年1月16日
福島地方広域行政圏（17市町村）		
仙南地域広域行政圏（9市町村）		
亘理名取広域行政圏（2市2町）		
相馬地方広域市町村圏組合（6市町村）		
置賜広域行政圏（8市町村）		
福島県広域消防相互応援 県内12市町村圏組合協定	大規模・特殊災害 相互応援	平成10年1月1日
火災原因調査に係る相互応援協定 県内12市町村圏組合	火災調査	平成12年4月1日
亘理地区行政事務組合	常磐自動車道消防相互応援	令和4年3月25日
双葉地方広域市町村圏組合	常磐自動車道消防相互応援	平成26年8月8日
伊達地方消防組合	東北中央自動車道 (相馬福島道路)消防相互応援	平成30年3月1日



予 防 統 計



防 火 対 象 物 の 現 況

(令和4年度)

項 別			種 別			防 火 対 象 物 数			防火管理者を必要とする対象物	
						特定防火対象物	非特定防火対象物	計	甲 種	乙 種
1	イ	劇 場 等	7		7	7				
	ロ	公 会 堂 等	65		65	46	15			
2	イ	キ ャ バ レ ー 等								
	ロ	遊 技 場 等	11		11	11				
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 営 む 店 舗 等								
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3		3	3				
3	イ	料 理 店 等	4		4	4				
	ロ	飲 食 等	65		65	24	24			
4		店 舗 等	190		190	107	38			
5	イ	旅 館 等	531		531	92	3			
	ロ	共 同 住 宅 等		681	681	58	3			
6	イ	病 院 等	(1)	15		15	7			
			(2)	1		1	1			
			(3)	7		7	7			
			(4)	43		43	11	3		
	ロ	重 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)	33		33	26			
			(2)							
			(3)							
			(4)	1		1	1			
			(5)	1		1	1			
	ハ	軽 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)	32		32	19	2		
			(2)							
			(3)	34		34	28	2		
			(4)	10		10	2			
			(5)	50		50	6	3		
	ニ	幼 稚 園 等	18		18	13				
	7		学 校		139	139	65			
8		図 書 館 等		10	10	6				
9	イ	特 殊 浴 場	1		1	1				
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場		1	1	1				
10		停 車 場 等		4	4					
11		神 社 等		50	50	13	4			
12	イ	工 場 等		616	616	73				
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等								
13	イ	車 庫 等		34	34					
	ロ	飛 行 機 格 納 庫		1	1					
14		倉 庫		330	330	9				
15		事 業 所		671	671	118	25			
16	イ	一 部 特 防 (含)	148		148	93	11			
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途		67	67	13	1			
17		文 化 財		3	3					
合 計			1,270	2,607	3,877	866	134			

防火対象物立入検査状況

(令和4年度)

項別			種別	対象物件数				実施件数				警告書 件数	結果 通知書 件数	改 善 件 数
				I種	II種	III種	特別	I種	II種	III種	特別			
1	イ	劇場等	3	4			2	2				2	2	
	ロ	公会堂等	1	41	21	2	2	17	8			14	11	
2	イ	キャバレー等												
	ロ	遊技場等	1	10			1	2						
	ハ	性風俗関連特殊営業 営む店舗等												
3	イ	料理店等		4										
	ロ	飲食等		18	31	16		1	2			1	1	
4		店舗等	24	93	14	59	16	35	6	1		14	10	
5	イ	旅館等	34	266	205	26	27	25	2			10	3	
	ロ	共同住宅等		238	232	211		29	105	9		20	19	
6	イ	病院等	(1)	15				10						
			(2)	1				1						
			(3)	1	6				1					
			(4)	2	31		10	2	8					
	ロ	重度老人福祉 施設等	(1)	24	9			20	2				2	2
			(2)											
			(3)											
			(4)	1				1						
			(5)	1				1						
	ハ	軽度老人福祉 施設等	(1)	4	28			4	10				4	3
			(2)					1						
			(3)	34				27					7	6
			(4)	1	9				4	1			5	5
			(5)	5	44		1	5	14	1			8	8
	ニ	幼稚園等	18				24		1			5	3	
7		学校	139				58				8	4		
8		図書館等		4	3	3		1	2					
9	イ	特殊浴場			1									
	ロ	イ以外の公衆浴場		1										
10		停車場等		1		3		1		1				
11		神社等		7	29	14		1	10	2		5	2	
12	イ	工場等	60	409	72	75	68	184	17	6		45	26	
	ロ	映画スタジオ等												
13	イ	車庫等	1	19	6	8	3	11	3	1		10	2	
	ロ	飛行機格納庫		1										
14		倉庫	41	160	42	87	38	73	10	6		19	9	
15		事業所	113	252	160	146	117	115	44	14		32	8	
16	イ	一部特防(含)	7	100	30	11	5	28	4	1		23	6	
	ロ	その他の複合用途	5	29	13	20	4	9	6	3		8	3	
17		文化財			1	2			1					
合計			536	1,787	860	694	437	573	223	44		242	133	
一般家庭			世帯数	42,299				立入検査実施件数				0		

※実施規定 I種査察は年1回以上、II種査察は3年に1回以上、III種査察は5年に1回以上の実施。

甲種防火管理者新規（再）講習実施状況

実施年月日	修了証交付者数	実施年月日	修了証交付者数
昭和49年～昭和60年	1,370	平成20年7月10日	85
昭和61年10月8日	133	平成20年12月4日 (再講習)	8
昭和62年10月8日	112	平成21年7月9日	82
昭和63年10月5日	102	平成21年12月3日 (再講習)	4
平成元年10月5日	107	平成22年7月9日	86
平成2年10月2日	134	平成22年12月2日 (再講習)	14
平成3年10月8日	117	平成23年10月6日	55
平成4年10月7日	110	平成23年12月2日 (再講習)	21
平成5年10月7日	90	平成24年7月12日	69
平成6年10月7日	94	平成24年12月5日 (再講習)	19
平成7年10月5日	127	平成25年7月5日	75
平成8年10月17日	94	平成25年12月5日 (再講習)	12
平成9年10月16日	110	平成26年7月3日	88
平成10年10月8日	107	平成26年12月4日 (再講習)	11
平成11年10月7日	93	平成27年7月10日	86
平成12年10月12日	86	平成27年12月3日 (再講習)	28
平成13年7月8日	95	平成28年7月8日	80
平成13年10月3日	126	平成28年12月2日 (再講習)	12
平成14年7月14日	90	平成29年7月10日	98
平成14年10月4日	66	平成29年12月7日 (再講習)	13
平成15年7月13日	89	平成30年7月6日	112
平成15年10月17日	73	平成30年11月30日 (再講習)	12
平成16年7月17日	79	令和元年7月5日	86
平成16年10月17日	40	令和元年11月29日 (再講習)	11
平成17年7月10日	62	令和2年度の新規・再講習は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
平成17年12月7日	44	令和3年9月28日	70
平成18年7月12日	83	令和3年12月2日 (再講習)	37
平成18年12月6日 (再講習)	48	令和4年8月5日	75
平成19年7月11日	87	令和4年12月6日 (再講習)	17
平成19年12月5日 (再講習)	9	合 計	5,343

防火管理者の選任及び消防計画の届出状況

(令和4年度)

選任・届出状況			防火管理者			消防計画			
			選任を必要とする対象物数	選任済対象物数	選任の割合(%)	届出を必要とする対象物数	届出済対象物数	届出の割合(%)	
項別									
1	イ	劇場等	7	7	100	7	7	100	
	ロ	公会堂等	61	61	100	61	59	97	
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等	11	11	100	11	11	100	
	ハ	<small>性風俗関連特殊営業等 営営む店</small>							
	ニ	カラオケボックス等	3	3	100	3	3	100	
3	イ	料理店等	4	4	100	4	4	100	
	ロ	飲食等	48	46	96	48	45	94	
4		店舗等	145	125	86	145	125	86	
5	イ	旅館等	95	92	97	95	92	97	
	ロ	共同住宅等	61	58	95	61	57	93	
6	イ	病院等	(1)	7	7	100	7	7	100
			(2)	1	1	100	1	1	100
			(3)	7	7	100	7	7	100
			(4)	14	14	100	14	14	100
	ロ	重度老人福祉施設等	(1)	26	26	100	26	26	100
			(2)						
			(3)						
			(4)	1	1	100	1	1	100
			(5)	1	1	100	1	1	100
	ハ	軽度老人福祉施設等	(1)	21	21	100	21	21	100
			(2)						
			(3)	30	28	93	30	30	100
			(4)	2	2	100	2	2	100
			(5)	9	9	100	9	9	100
	ニ	幼稚園等	13	13	100	13	13	100	
7		学校	65	65	100	65	65	100	
8		図書館等	6	6	100	6	6	100	
9	イ	特殊浴場	1	1	100	1	1	100	
	ロ	イ以外の公衆浴場	1	1	100	1	1	100	
10		停車場等							
11		神社等	17	17	100	17	17	100	
12	イ	工場等	73	73	100	73	72	99	
	ロ	映画スタジオ等							
13	イ	車庫等							
	ロ	飛行機格納庫							
14		倉庫	9	9	100	9	9	100	
15		事業所	143	143	100	143	143	100	
16	イ	一部特防(含)	104	98	94	104	97	93	
	ロ	その他の複合用途	14	14	100	14	14	100	
17		文化財							
合計			1,000	964	96	1,000	960	96	

防火対象物定期点検報告制度実務状況

(令和4年度)

項 別			類 別	点検を要する 防火対象物数		点検報告件数		認定件数	
				第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇 場 等	7		4				
	ロ	公 会 堂 等	35		17		2		
2	イ	キ ャ バ レ ー 等							
	ロ	遊 技 場 等	8		2		3		
	ハ	性風俗関連特殊営業 営 む 店 舗 等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	料 理 店 等							
	ロ	飲 食 等							
4		店 舗 等	31		21		4		
5	イ	旅 館 等	5	6	3			3	
	ロ	共 同 住 宅 等							
6	イ	病 院 等	(1)	8		2		3	
			(2)		1		1		
			(3)	1	1			1	
			(4)						
	ロ	重 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)						
			(2)						
			(3)						
			(4)						
			(5)						
	ハ	軽 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)	1		1			
			(2)						
			(3)						
			(4)						
			(5)						
	ニ	幼 稚 園 等	1				1		
	7		学 校						
8		図 書 館 等							
9	イ	特 殊 浴 場							
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場							
10		停 車 場 等							
11		神 社 等							
12	イ	工 場 等							
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等							
13	イ	車 庫 等							
	ロ	飛 行 機 格 納 庫							
14		倉 庫							
15		事 業 所							
16	イ	一 部 特 防 (含)	5		2				
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途							
17		文 化 財							
合 計			102	8	52	1	14	3	

防火対象物階層別調

(令和4年度)

項別			階層別		1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	計	
			イ	ロ													
1	イ	劇場等	2	4		1										7	
	ロ	公会堂等	46	17	1	1										65	
2	イ	キャバレー等															
	ロ	遊技場等	8	3												11	
	ハ	性風俗関連特殊営業 営む店舗等															
3	イ	料理店等		3	1											4	
	ロ	飲食等	38	26	1											65	
4		店舗等	157	30	2	1										190	
5	イ	旅館等	360	141	5	8	6	4	2	2	1	2				531	
	ロ	共同住宅等	137	331	144	38	30	1								681	
6	イ	病院等	(1)		4		5	2	3	1						15	
			(2)			1										1	
			(3)		4	2	1										7
			(4)	16	24	3											43
	ロ	重度老人福祉 施設等	(1)	22	5	4	1	1									33
			(2)														
			(3)														
			(4)		1												1
			(5)		1												1
	ハ	軽度老人福祉 施設等	(1)	22	10												32
			(2)														
			(3)	24	10												34
			(4)	9	1												10
			(5)	21	29												50
	ニ	幼稚園等	12	6												18	
7		学校	44	59	34	2									139		
8		図書館等	5	3	1	1									10		
9	イ	特殊浴場		1												1	
	ロ	イ以外の公衆浴場	1													1	
10		停車場等	4												4		
11		神社等	33	17											50		
12	イ	工場等	404	187	18	6	1									616	
	ロ	映画スタジオ等															
13	イ	車庫等	30	4												34	
	ロ	飛行機格納庫		1												1	
14		倉庫	236	89	4	1									330		
15		事業所	311	279	50	18	5	4	3			1			671		
16	イ	一部特防(含)	27	77	38	3	3									148	
	ロ	その他の複合用途	14	42	8	1				1	1					67	
17		文化財	3													3	
合 計			1,987	1,411	317	88	48	12	7	3	2	2	2	2	3,877		

市町村別建築同意処理状況

(令和4年度)

工事種別		新築	増築	改築	その他	移転	用途変更	計
市区町村別								
南相馬市	原町区	61	33				1	95
	小高区	15	1	1			1	18
	鹿島区	16			3			19
	計	92	34	1	3		2	132
相馬市		42	38					80
新地町		12	1					13
飯舘村		2						2
合計		148	73	1	3	0	2	227

所属別建築同意処理状況

種別	専用住宅	併用住宅	特殊建築物	その他	計
所属別					
南相馬消防署	17		74	4	95
小高分署	3		10	5	18
鹿島分署	3		5	11	19
飯舘分署			2		2
相馬消防署	38		42		80
新地分署	2		6	5	13
合計	63	0	139	25	227

用途別建築同意処理状況

(令和4年度)

項 別	工事種別		新 築	増 築	改 築	その他	移 転	用途変更	計
1	イ	劇 場 等							
	ロ	公 会 堂 等	1						1
2	イ	キ ャ バ レ ー 等							
	ロ	遊 技 場 等							
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 等 営 む 店 舗 等							
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等							
3	イ	料 理 店 等							
	ロ	飲 食 等	1						1
4		店 舗 等	6				1		7
5	イ	旅 館 等	2	1					3
	ロ	共 同 住 宅 等	2	2					4
6	イ	病 院 等	(1)	1					1
			(2)						
			(3)		1				1
			(4)		10				10
	ロ	重 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)						
			(2)						
			(3)						
			(4)						
			(5)		1				1
	ハ	軽 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)						
			(2)						
			(3)						
			(4)						
			(5)						
	ニ	幼 稚 園 等							
7		学 校		1	1			2	
8		図 書 館 等	1					1	
9	イ	特 殊 浴 場							
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場							
10		停 車 場 等							
11		神 社 等							
12	イ	工 場 等	21	6					27
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等							
13	イ	車 庫 等	7	1					8
	ロ	飛 行 機 格 納 庫							
14		倉 庫	13	11					24
15		事 業 所	30	13		1			44
16	イ	一 部 特 防 (含)	3						3
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途		1					1
17		文 化 財							
合 計			88	48	1	1	1	139	

消防用設備等の着工・設置届出件数

(令和4年度)

種 別 項 別			相 馬 消 防 署				南 相 馬 消 防 署							
			本 署		新地分署		本 署		小高分署		鹿島分署		飯館分署	
			着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届
1	イ	劇 場 等					1	2					1	
	ロ	公 会 堂 等				5								1
2	イ	キ ャ バ レ ー 等												
	ロ	遊 技 場 等		3										
	ハ	性風俗関連特殊営業等 営 営 店 舗												
3	イ	料 理 店 等												
	ロ	飲 食 等		2										
4		店 舗 等	5	18			4	17				3		
5	イ	旅 館 等	1	1				1					1	4
	ロ	共 同 住 宅 等		4			2	6						
6	イ	病 院 等	(1)	1			1	6						
			(2)											
			(3)											
			(4)											
	ロ	重 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)	2	4			3	2					
			(2)											
			(3)											
			(4)	2	2									
			(5)											
	ハ	軽 度 老 人 福 祉 施 設 等	(1)											
			(2)											
			(3)	4	5			1	3					
			(4)											
			(5)					2	2					
	ニ	幼 稚 園 等	1	3				1						
7		学 校	2	5	1	4		1						
8		図 書 館 等												
9	イ	特 殊 浴 場												
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場												
10		停 車 場 等												
11		神 社 等							1					
12	イ	工 場 等	1	8	5	19	13	41		3	2	4	1	5
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等					1							
13	イ	車 庫 等		1										
	ロ	飛 行 機 格 納 庫												
14		倉 庫	1	2			2	7				1	2	
15		事 業 所	2	6	2	15	1	48					1	
16	イ	一 部 特 防 (含)		5			2	3					2	
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途		1				2				1		
17		文 化 財												
合 計			21	72	8	43	33	142	1	3	2	10	3	20

火災予防条例に基づく届出件数

(令和4年度)

所属別 類別		相馬消防署		南相馬消防署				計
		本署	新地分署	本署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
圧縮アセチレンガス								
液化石油ガス		15	5	25	2		1	48
防火管理	防火対象物使用開始届	24	19	51	11		12	117
	消防計画書	84	24	100	15		5	228
電気・火気使用等	熱風炉・かまど・ボイラー	5	2	8				15
	乾燥設備・火花を生じる機械設備		2	3	1	1	1	8
	急速充電・燃料電池発電設備							
	変電・発電・蓄電池設備	13	3	45	5		2	68
	ネオン管灯設備							
	水素ガスを充填する気球							
各種届出等	火災とまぎらわしい行為の届出	20	15	56	20	14	7	132
	煙火打上	17	6	6	5	6	5	45
	催物開催	4			1			5
	水道断水・減水		4			1		5
	道路工事	89	149	39	8	10	20	315
	露店等の開設	6	6		5	1	5	23
危険物等	少量危険物	20	1	35	5	2	2	65
	指定可燃物	7		2				9
	毒物・劇物	1						1
合計		305	236	370	78	35	60	1,084



危險物統計



市町村別危険物施設数

(令和4年度)

施設別 市区町村別		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
相馬市		3	32	48	2	37		61	11	191	23			50	73	267
南 相 馬 市	原町区	8	28	41	1	40	1	35	6	152	39			38	77	237
	小高区		6	15		11		6		38	4			11	15	53
	鹿島区		5	3		6		15		29	12			5	17	46
	計	8	39	59	1	57	1	56	6	219	55			54	109	336
新地町			6	12		10		6		34	6			14	20	54
飯舘村						3		10		13	4			3	7	20
合 計		11	77	119	3	107	1	133	17	457	88			121	209	677

※ 特定屋外タンク貯蔵所

- ① 相馬共同火力発電所
重油 20,003Kℓ 2基
- ② 東北電力原町火力発電所
軽油 2,980Kℓ 2基

数量別危険物施設数

(令和4年度)

施設別 数量別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
5倍以下		39	19	1	63	1	108	1	232	4			47	51	283
5～10		16	14	1	21		5	4	61	1			25	26	87
10～50	3	17	53	1	17		4	7	99	30			33	63	165
50～100	7	1	11		4		14		30	10			8	18	55
100～150		2	4		1		2	5	14	8			2	10	24
150～200		2	2		1				5	16				16	21
200～1,000	1		12						12	19			1	20	33
1,000～5,000			2						2				5	5	7
5,000～10,000									0						0
10,000倍を超えるもの			2						2						2
合 計	11	77	119	3	107	1	133	17	457	88			121	209	677

類別危険物施設数


(令和4年度)

種類	施設別	製造所	貯蔵所							取扱所					合計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所		小計
単独	第一類		1							1						1
	第二類	1	2	1						3				1	1	5
	第三類															
	第四類	5	68	115	3	107	1	133	17	444	88			108	196	645
	第五類		2	1						3				1	1	4
	第六類			2						2				4	4	6
混在		5	4						4				7	7	16	
合計		11	77	119	3	107	1	133	17	457	88			121	209	677


施設別許可・完成検査・廃止届件数

(令和4年度)

施設別 届出別		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
許 可	設置			2				4		6				1	1	7
	変更	4	2	8		1		4		15	14			13	27	46
完 成 検 査	設置			2				4		6				1	1	7
	変更	3	2	9		1		5		17	12			14	26	46
廃止届			2	4		4		4		14	2			1	3	17



火災統計

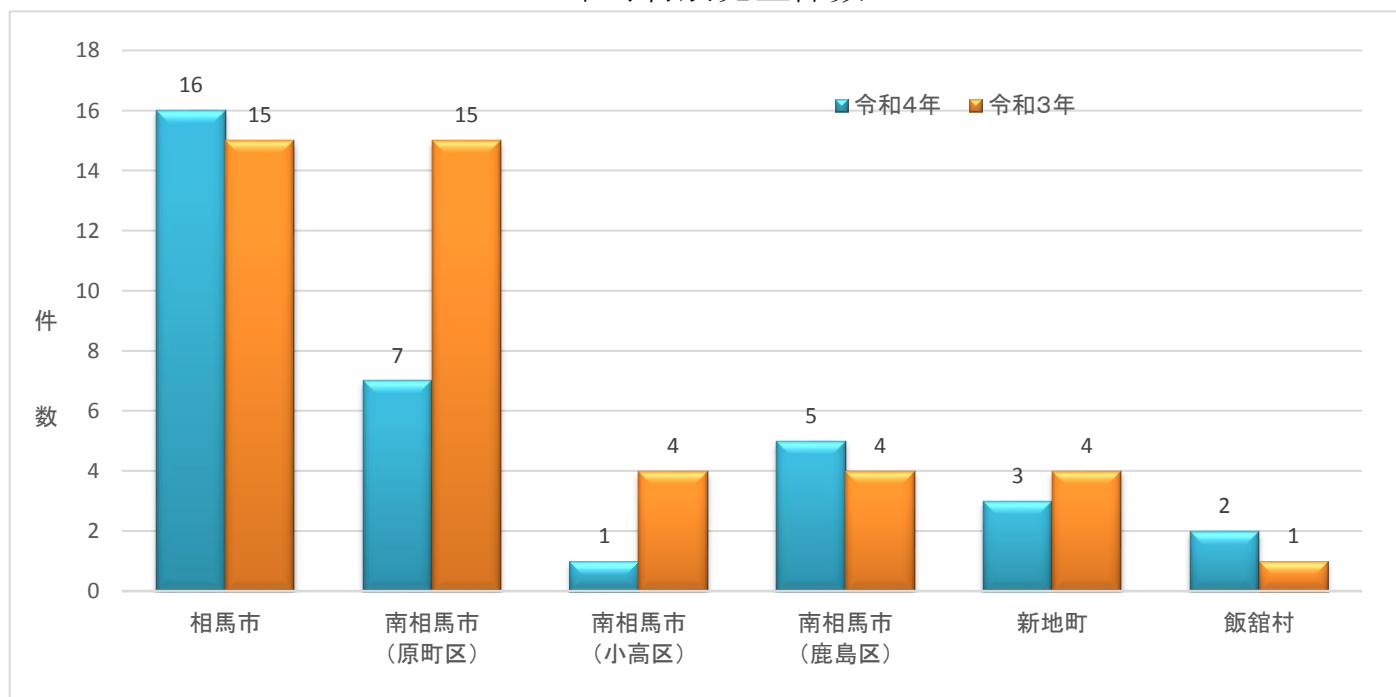


火災発生状況

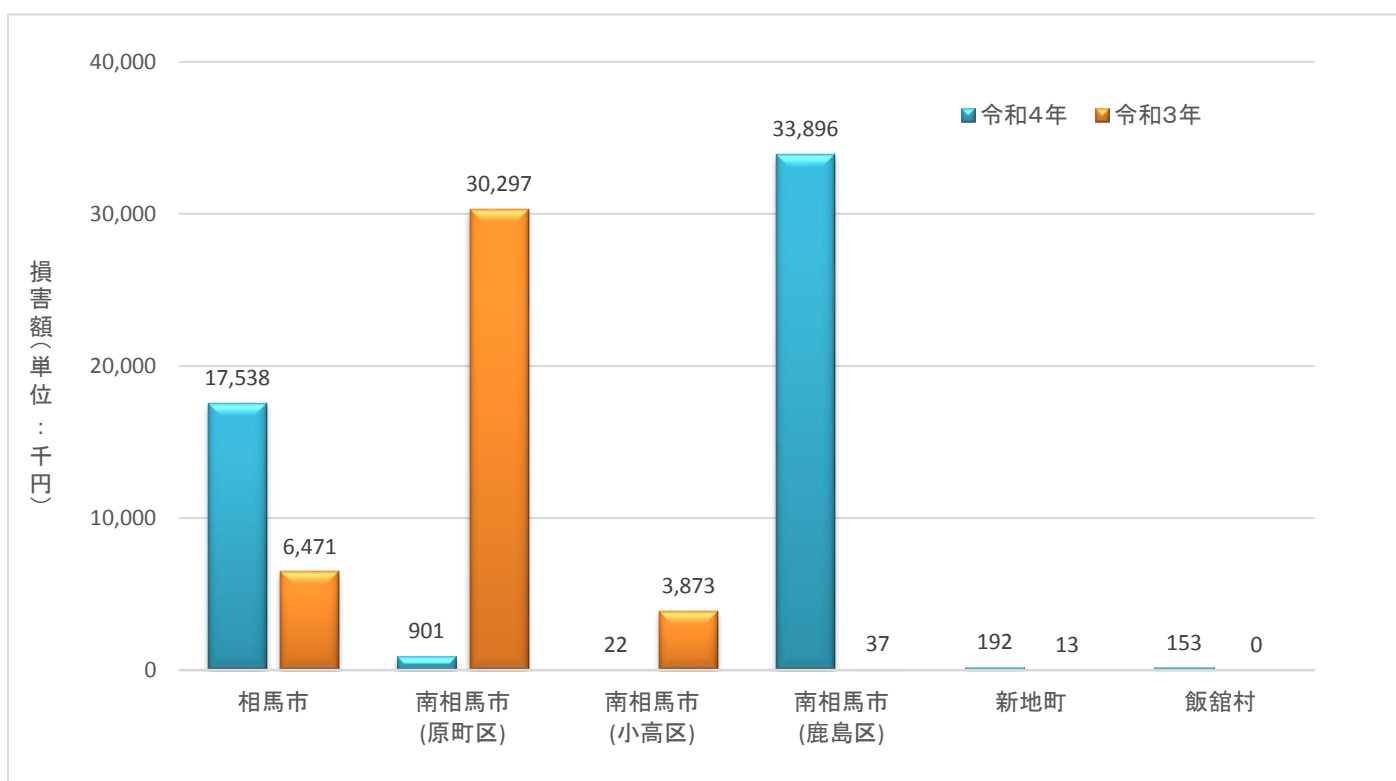
(令和4年)

1	火災件数	34	件
2	損害額	52,702	千円
3	建物焼失床面積	1,725	m ²
4	林野焼失面積	82	a
5	焼死者	1	名
6	負(火)傷者	5	名

市町村別発生件数



市町村別損害額



市町村別火災発生状況

(令和4年)

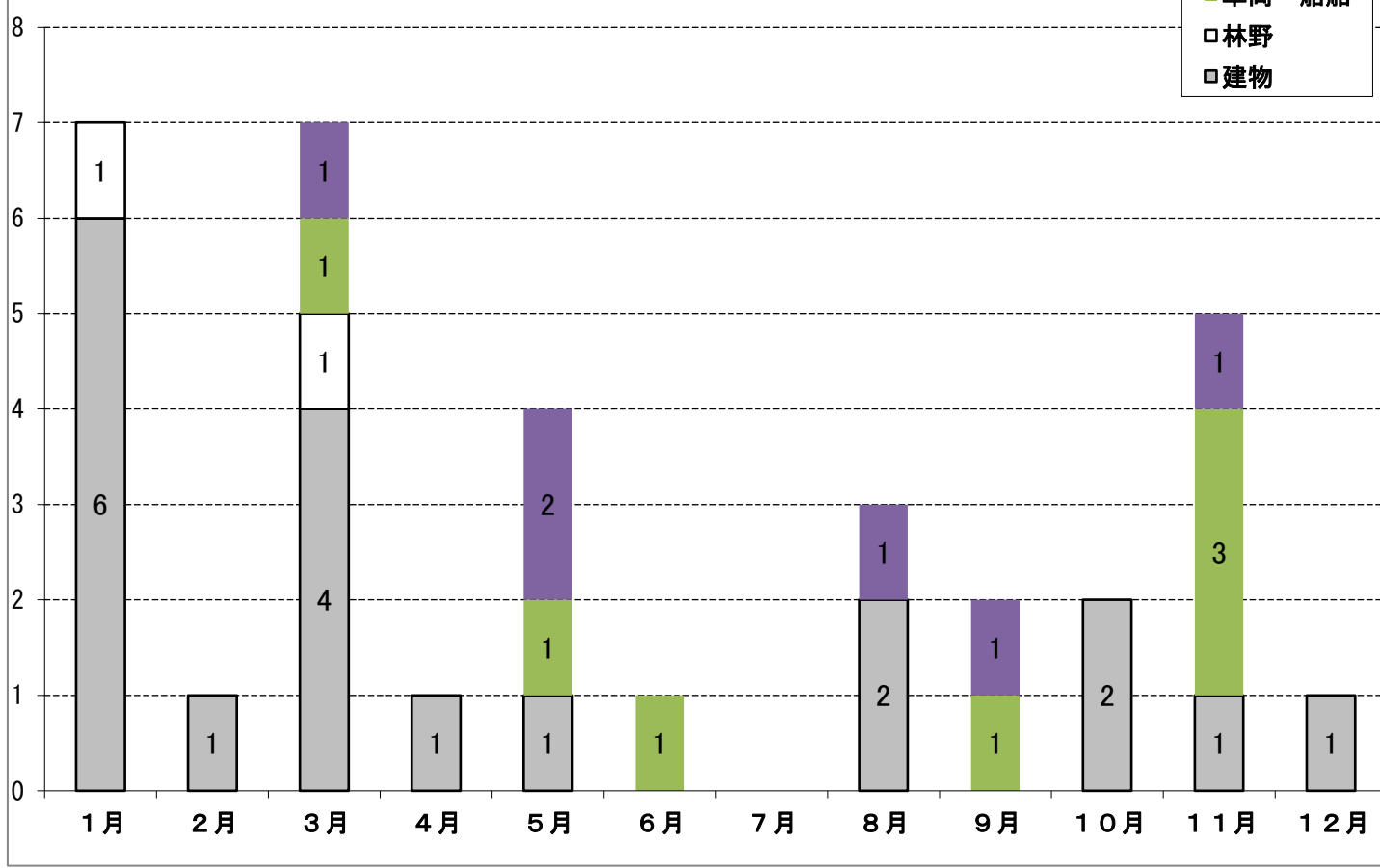
種 別		市町村別						
		相馬市	(南相馬市) 原町区	(南相馬市) 小高区	(南相馬市) 鹿島区	新地町	飯舘村	計
発生件数		16	7	1	5	3	2	34
火災種別	建物火災	8	3	1	5	1	1	19
	林野火災		1			1		2
	車両火災	5	1			1		7
	船舶火災							0
	その他の火災	3	2				1	6
焼損棟数	火元棟	全焼	2			3	2	7
		半焼						0
		部分焼	2	2	1	1		6
		ぼや	3	1		1	1	6
	類焼棟	全焼	4			6		10
		半焼						0
		部分焼	3			4		7
		ぼや	3			2		5
り災世帯	全損	1			2		3	
	半損						0	
	小損	8	3	1	3		15	
	り災人員	36	8	2	18		64	
死傷者	死者	1					1	
	負傷者	1	2		2		5	
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	645		1,039		41	1,725
		表面積 (㎡)	8	12	3	48		71
	林野 (a)		1		81		82	
火災損害額 (単位/千円)	建物	9,029	378	22	26,164		142	35,735
	内容物	7,219	458		6,927	155	11	14,770
	林野				434			434
	車両	1,290	40		371	30		1,731
	船舶							0
	その他		25			7		32
	計	17,538	901	22	33,896	192	153	52,702

月別火災発生状況

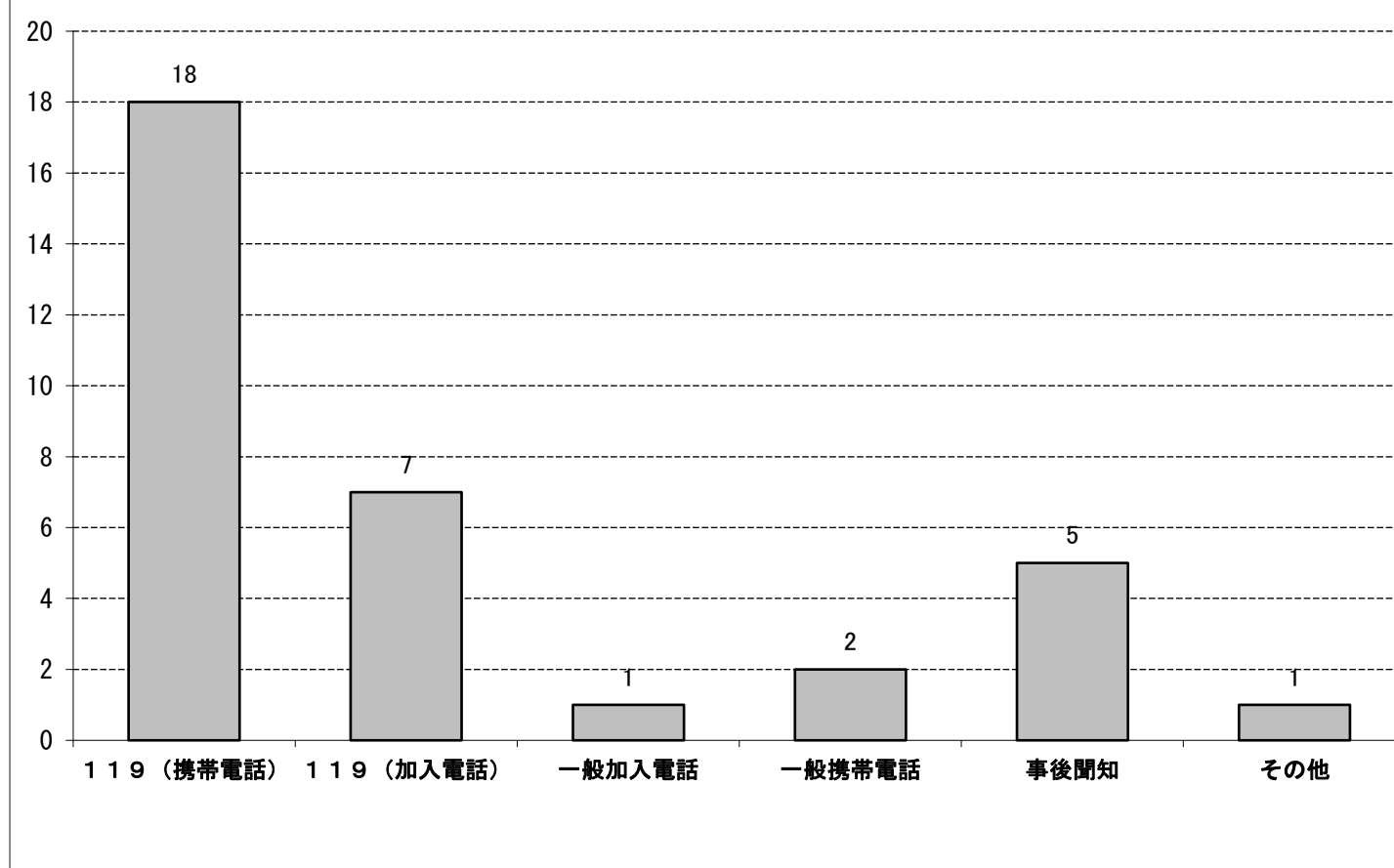
(令和4年)

種別		月別												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
発生件数		7	1	7	1	4	1	0	3	2	2	5	1	34
火災種別	建物火災	6	1	4	1	1			2		2	1	1	19
	林野火災	1		1										2
	車両火災			1		1	1			1		3		7
	船舶火災													0
	その他の火災			1		2			1	1		1		6
火災損棟数	火元棟	全焼	1		3	1	1					1		7
		半焼												0
		部分焼	2	1	1				2					6
		ぼや	2		1						2		1	6
	類焼棟	全焼	3		2	4	1							10
		半焼												0
		部分焼				2	3					2		7
		ぼや	2		1	1	1							5
火災世帯	全損	1			1							1		3
	半損													0
	小損	6	1	3		2		2		1			15	
	り災人員	22	4	11	5	6		7		7	2		64	
死傷者	死者	1												1
	負傷者	1			1			2			1			5
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	181	3	336	538	461					206		1,725
		表面積 (㎡)	5			36	7		11			12		71
	林野 (a)	1				81								82
火災損害額 (単位/千円)	建物	5,714	1	2,687	7,067	3,496			218			16,552		35,735
	内容物	5,579		1,036	5,506	1,260		458		380	396	155		14,770
	林野				434									434
	車両	543			171	22	30			500		465		1,731
	船舶													0
	その他					25	7							32
	計	11,836	1	3,723	13,178	4,803	37	0	676	500	380	17,413	155	52,702

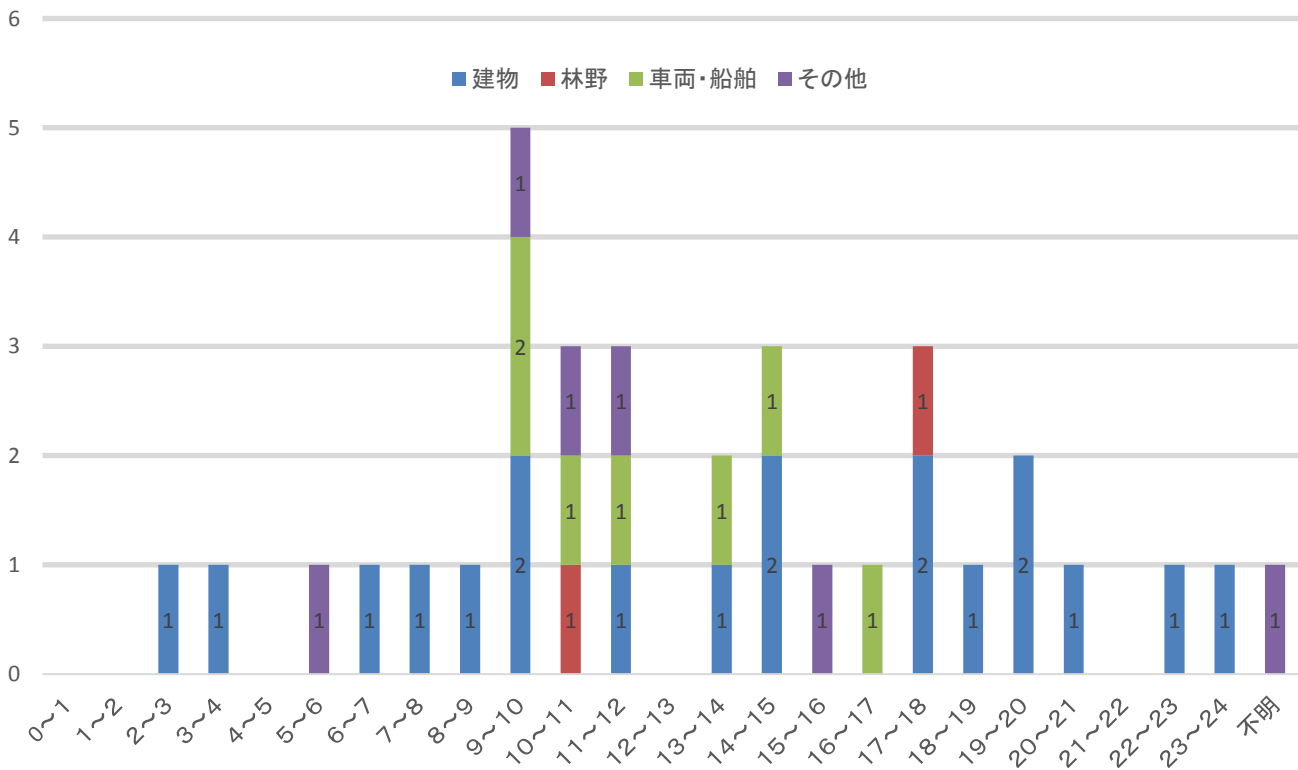
月別火災発生件数



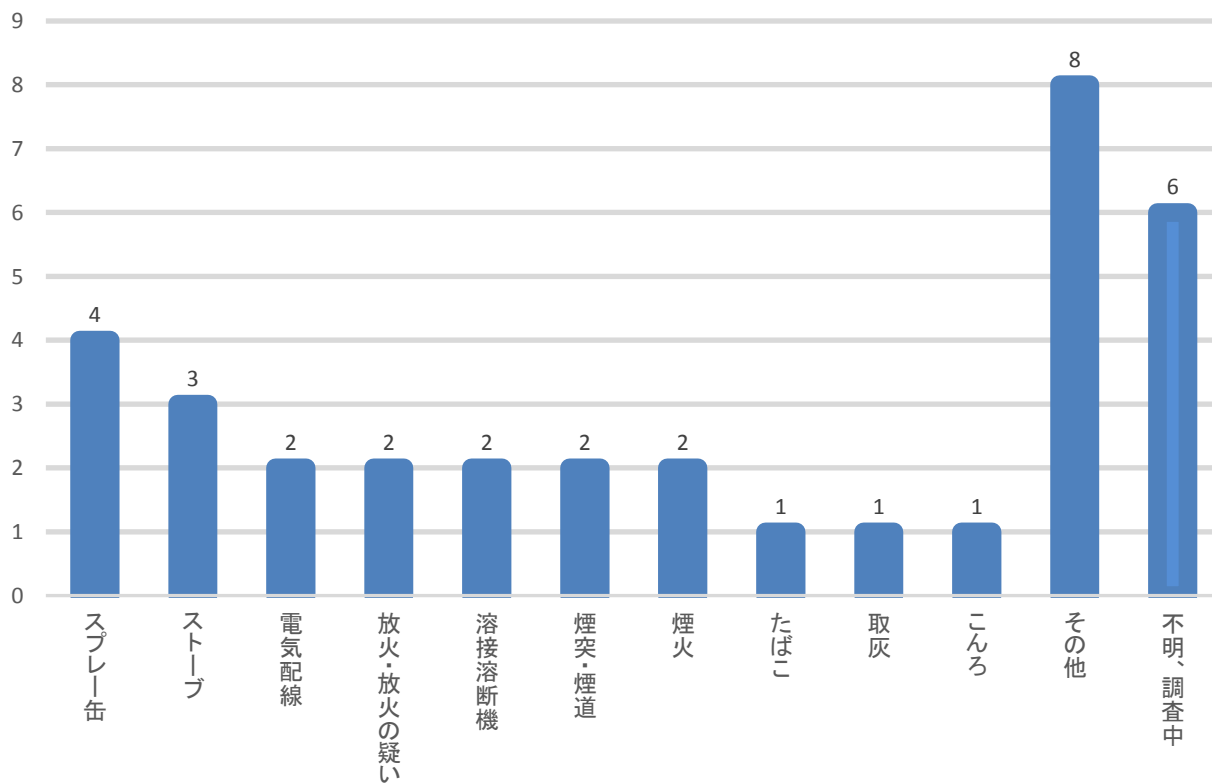
覚知別火災件数



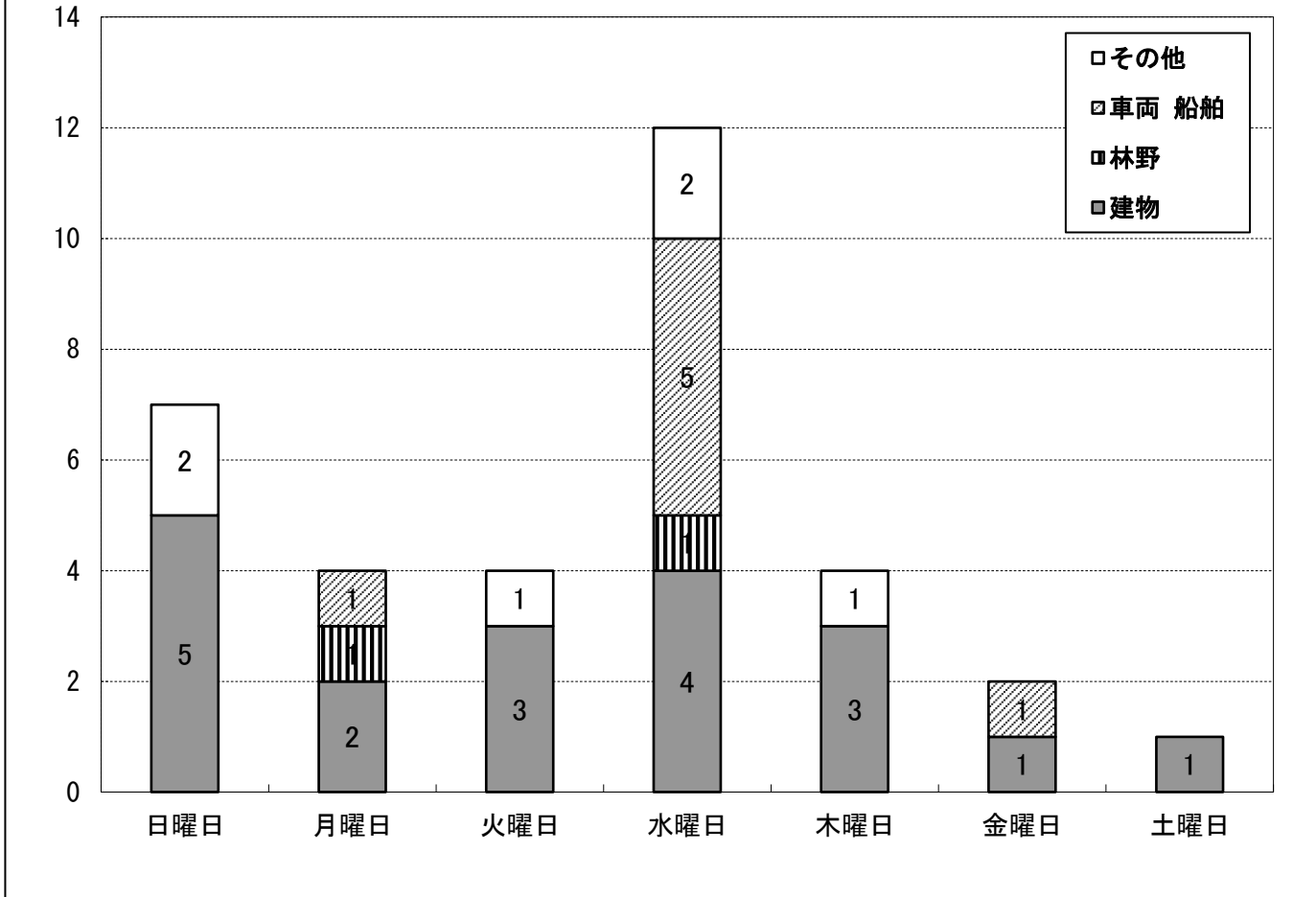
時間別火災発生件数



原因別火災件数




曜日別火災発生件数




過去5年間の火災発生状況

年別 区分	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
火災件数	34	43	24	46	46
人口	103,954	105,745	107,273	108,670	104,602
出火率 (人口1万人当り)	3.3	4.0	2.2	4.3	4.3
損害額(千円)	52,702	40,691	70,949	303,146	53,735
火災一件当りの 損害額(千円)	1,550	969	2,956	6,590	1,168
建物火災一件当り の焼損床面積(m ²)	91	143	89	68	111
建物火災一件当り の損害額(千円)	2,729	4,069	6,048	11,666	3,682
林野火災一件当り の焼損面積(a)	0.7	125	0	17	2.5
林野火災一件当り 損害額(千円)	0	1	0	0	4



警 防 統 計



消 防 活 動 状 況 (1)

(令和4年)

種 別		相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署			合 計	
		本 署	新 地 分 署	本 署	小 高 分 署	鹿 島 分 署		飯 館 分 署
建 物 火 災	出 動 件 数	14	6	7	2	12	1	42
	延 人 員 数	99	21	52	8	34	4	218
	車 両 延 台 数	36	6	16	2	13	1	74
	活 動 延 時 間	22:36	10:39	13:07	1:56	21:55	2:38	72:51
林 野 火 災	出 動 件 数		1	1	1	2		5
	延 人 員 数		3	12	4	6		25
	車 両 延 台 数		1	3	1	2		7
	活 動 延 時 間		1:34	1:23	1:10	2:11		5:08
車 両 火 災	出 動 件 数	5		3				8
	延 人 員 数	49		20				69
	車 両 延 台 数	16		7				23
	活 動 延 時 間	8:13		7:56				16:09
船 舶 火 災	出 動 件 数							
	延 人 員 数							
	車 両 延 台 数							
	活 動 延 時 間							
そ の 他 の 火 災	出 動 件 数	4	2	2	1	4		13
	延 人 員 数	22	6	21	3	11		63
	車 両 延 台 数	8	2	6	1	4		21
	活 動 延 時 間	4:02	1:25	3:05	0:52	3:19		12:43
偵 察 出 動	出 動 件 数			4				4
	延 人 員 数			28				28
	車 両 延 台 数			9				9
	活 動 延 時 間			3:08				3:08
風 水 害 等	出 動 件 数	1	5	1		6		13
	延 人 員 数	80	14	22		18		134
	車 両 延 台 数	32	5	7		6		50
	活 動 延 時 間	9:32	5:08	5:30		5:15		25:25
警 防 調 査	出 動 件 数	58	7	19	9	10	19	122
	延 人 員 数	183	15	70	36	34	54	392
	車 両 延 台 数	62	8	25	18	17	24	154
	活 動 延 時 間	88:05	5:30	19:55	10:25	6:00	25:30	155:25
訓 練 指 導	件 数	72	20	95	14	48	27	276
	延 人 員 数	203	82	256	85	221	91	938
	車 両 延 台 数	70	41	99	23	95	15	343
	活 動 延 時 間	72:05	20:55	74:35	13:05	47:00	46:40	274:20

消 防 活 動 状 況 (2)

(令和4年)

署分署別 種 別		相 馬 消 防 署		南 相 馬 消 防 署				合 計
		本 署	新地分署	本 署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
広 報	出 動 件 数	82	19	9	7	10	42	169
	延 人 員 数	213	24	22	14	36	102	411
	車両延台数	81	20	9	7	17	57	191
	活動延時間	90:15	19:10	10:20	8:15	12:05	55:35	195:40
特 別 警 戒	出 動 件 数	167	62	71	44	73	52	469
	延 人 員 数	418	89	198	125	179	134	1143
	車両延台数	169	69	74	71	102	74	559
	活動延時間	195:50	67:45	84:50	52:55	83:20	71:05	555:45
捜 索	出 動 件 数		1					1
	延 人 員 数		5					5
	車両延台数		2					2
	活動延時間		1:30					1:30
誤 報 等	出 動 件 数	15	7	8	1	11		42
	延 人 員 数	135	22	57	4	34		252
	車両延台数	45	7	21	1	11		85
	活動延時間	13:17	4:26	6:27	0:15	8:13		32:38
緊 急 援 助	出 動 件 数							
	延 人 員 数							
	車両延台数							
	活動延時間							
そ の 他	出 動 件 数	92	10	131	7	4	2	246
	延 人 員 数	287	24	393	18	9	6	737
	車両延台数	101	10	382	7	4	2	506
	活動延時間	75:18	8:19	112:45	5:03	3:09	5:12	209:46

消 火 活 動 状 況

(令和4年)

区 分		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合 計
火 災 件 数		19	2	7		6	34
焼失面積 (㎡)	焼 失 面 積	1,796	8,100	/	/	130	/
	火災1件の 平均焼失面積	94.53	4050.00	/	/	21.67	/
出動台数 (台)	総出動台数	74	9	28		17	128
	火災1件の 平均出動台数	3.89	4.50	4.00		2.83	3.76
出動人員 (人)	総出動人員	237	31	81		49	398
	火災1件の 平均出動人員	12.47	15.50	11.57		8.17	11.71
放水車両 (台)	総放水台数	24	3	16		6	49
	火災1件の 平均放水台数	1.26	1.50	2.29		1.00	1.44
使用ホース (本)	総使用ホース	179	31	36		28	274
	火災1件の 平均使用本数	9.42	15.50	5.14		4.67	8.06
放水時間 (時分)	総放水時間	10:57	1:13	2:41		1:57	16:48
	火災1件の 平均放水時間	0:34	0:36	0:23		0:19	0:29
放水量 (t)	総放水量	233.60	5.50	24.00		28.50	291.60
	火災1件の 平均放水量	12.29	2.75	3.43		4.75	8.58

救 助 活 動 状 況

(令和4年)

区 分		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員 (人)				出 動 車 両 (台)			
					消 防 隊 員	救 助 隊 員	救 急 隊 員	計	ポ ン プ 車 等	救 助 工 作 車	救 急 車	計
事 故 種 別	火災事故											
	交通事故	30	12	15	81	94	125	300	23	34	41	98
	水難事故	2	1	1	5	6	6	17	2	2	2	6
	自然災害	6	4	4	8	21	3	32	3	6	1	10
	機械事故	1	1	1		4	3	7		1	1	2
	その他の事故	36	16	16	62	72	76	210	23	31	38	92
合 計		75	34	37	156	197	213	566	51	74	83	208
相 馬 消 防 署	本 署	46	20	23	85	129	132	346	29	43	46	118
	新地分署											
南 相 馬 消 防 署	本 署	28	14	14	69	65	78	212	21	30	36	87
	小高分署											
	鹿島分署	1			2	3	3	8	1	1	1	3
	飯館分署											

訓練実施状況

(令和4年)

区分		実施回数 (回)	実施時間 (時間)	実施人員 (人)	月平均		
					実施回数 (回)	実施時間 (時間)	実施人員 (人)
訓練種別	規律	15	9:30	255	1.3	0:48	21.3
	運転	245	260:35	898	20.4	21:43	74.8
	消防用器具操法	138	117:40	751	11.5	9:48	62.6
	消防ポンプ操法	61	55:12	334	5.1	4:36	27.8
	図上訓練	226	154:35	1,329	18.8	12:53	110.8
	各種警防訓練	441	403:00	2,505	36.8	33:35	208.8
	体力練成訓練	321	104:30	2,296	26.8	8:42	191.3
	救急処置訓練	310	273:55	1,593	25.8	22:49	132.8
合計		1,757	1,378:57	9,961	146.5	114:54	830.2
相馬消防署	本署	515	392:47	3,436	42.9	32:44	286.3
	新地分署	148	112:40	549	12.3	9:23	45.8
南相馬消防署	本署	518	371:35	3,796	43.2	30:58	316.3
	鹿島分署	169	132:00	610	14.1	11:00	50.8
	小高分署	126	100:50	508	10.5	8:24	42.3
	飯館分署	281	269:05	1,062	23.4	22:25	88.5

消防車両の配置状況

(令和5年4月1日現在)

区分 所属	No.	車 両 名	登 録 番 号	メーカ	年式	ポンプ	登 録 年 月 日	経 過 年 数	備 考	
本 部	1	指 令 車	800 す 3766	トヨタ	H19		H19.8.31	15		
	2	指 揮 車	800 す 9926	トヨタ	H27		H27.8.21	7	緊急消防援助隊登録	
	3	災 害 救 援 車	800 せ 175	トヨタ	H28		H28.1.15	7	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業	
	4	水槽付消防ポンプ自動車	800 は 614	日 野	H20	日本ドライ	H20.1.30	15	小高タンク1 (予備車) 旧南相タンク1	
	5	高規格救急自動車	800 す 3121	トヨタ	H18		H18.11.17	16	旧小高救急1 (予備車)	
	6	連 絡 車	580 め 1816	ダイハツ	H26		H26.7.3	8		
	7	移 送 車 両	800 す 7047	トヨタ	H24		H24.3.7	11	旧相馬救急2 (移送専用)	
	8	移 送 車 両	800 す 5739	ニッサン	H22		H22.5.19	12	旧南相救急2 (移送専用)	
相 馬 消 防 署	本	9	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9924	トヨタ	H27		H27.8.21	7	
		10	査 察 兼 広 報 車	800 す 9446	トヨタ	H26		H26.10.10	8	
		11	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800 す 8005	日 野	H25	ネイチャー	H25.2.27	10	緊急消防援助隊登録
		12	水槽付消防ポンプ自動車	800 は 467	日 野	H17	モリタ	H17.12.12	17	緊急消防援助隊登録
		13	ブーム付多目的消防ポンプ自動車	800 は 1298	日 野	H29	モリタ	H29.2.13	6	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業
		14	救 助 工 作 車	800 は 788	日 野	H23		H23.6.6	11	
		15	津波・大規模風水害対策車	800 は 1572	いすゞ	R2		R2.9.29	2	緊急消防援助隊登録
	新 地 分 署	16	高規格救急自動車	800 す 7233	ニッサン	H24		H24.5.14	10	
		17	高規格救急自動車	800 せ 3193	トヨタ	R3		R3.11.22	1	
		18	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9954	トヨタ	H27		H27.9.4	7	
南 相 馬 消 防 署	本	19	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 す 9590	日 野	H26	モリタ	H26.12.16	8	緊急消防援助隊登録
		20	高規格救急自動車	800 す 6158	トヨタ	H23		H23.1.14	12	緊急消防援助隊登録
		21	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9925	トヨタ	H27		H27.8.21	7	
		22	査 察 兼 広 報 車	800 す 9445	トヨタ	H26		H26.10.14	8	
		23	消 防 ポ ン プ 自 動 車	800 す 5502	日 野	H22	日本ドライ	H22.1.22	13	緊急消防援助隊登録
		24	水槽付消防ポンプ自動車	800 は 1599	日 野	R3	日本機工	R3.2.26	2	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業
	署	25	ブーム付多目的消防ポンプ自動車	800 は 1297	日 野	H29	モリタ	H29.2.13	6	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業
		26	救 助 工 作 車	800 は 453	日 野	H17		H17.10.17	17	緊急消防援助隊登録
		27	特殊災害対応消防支援車	800 は 1553	日 野	R2		R2.5.20	2	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業
		28	高規格救急自動車	800 せ 1344	トヨタ	H30		H30.2.8	5	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業
		29	高規格救急自動車	800 せ 3710	トヨタ	R4		R5.3.1	0	緊急消防援助隊登録
		30	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9952	トヨタ	H27		H27.9.4	7	
小 高 分 署	31	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 184	日 野	H28	モリタ	H28.1.28	7	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業	
	32	高規格救急自動車	800 せ 1364	ニッサン	H30		H30.2.14	5	消防防災設備災害復旧費補助金事業	
	33	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9953	トヨタ	H27		H27.9.4	7		
	34	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 652	日 野	H28	モリタ	H28.11.7	6	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業	
	35	化学消防ポンプ自動車(Ⅲ型)	800 は 1294	日 野	H29	モリタ	H29.2.8	6	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業	
	36	高規格救急自動車	800 す 4792	トヨタ	H20		H20.12.16	14		
	鹿 島 分 署	37	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9444	トヨタ	H26		H26.10.10	8	
		38	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 185	日 野	H28	モリタ	H28.1.20	7	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業
		39	高規格救急自動車	800 せ 1365	ニッサン	H30		H30.2.14	5	消防防災設備災害復旧費補助金事業
飯 館 分 署	37	指 揮 兼 広 報 車	800 す 9444	トヨタ	H26		H26.10.10	8		
	38	小型水槽付消防ポンプ自動車	800 せ 185	日 野	H28	モリタ	H28.1.20	7	原子力災害避難指示区域消防活動費 交付金事業	
	39	高規格救急自動車	800 せ 1365	ニッサン	H30		H30.2.14	5	消防防災設備災害復旧費補助金事業	

消 防 資 機 材 の 保 有 状 況

(令和5年4月1日現在)

種 別	所 属	本 部	相馬消防署		南相馬消防署				計
			本 署	新地分署	本 署	小高 分署	鹿島 分署	飯館 分署	
消 火 用 器 具	ホースカー		1	1	2	1	1	1	7
	高発泡ノズル				1		2		3
	低発泡ノズル			1	3			1	5
	ロータリーノズル				1				1
	無反動管そう		4	1	4	1	1	1	12
	フオグガン		1	2	2	1	3	1	10
	背負い式消火水のう		20	10	23	12	17	7	89
	ホース (65 mm)		125	35	105	52	70	35	422
	ホース (50 mm)		145	65	145	85	103	65	608
	水幕ホース		3	2	3	3	2	2	15
	ディスクストレナー		2	1	1	1	1	1	7
	ウォーターチャージャー		1	1	1	2	1	1	7
	簡易水槽 (1,000ℓ)		1		1	1			3
	かぎ付梯子		2		3		1		6
	二連梯子								
三連梯子		3	1	4	1	2	1	12	
救 助 用 器 具	万能斧		2	1	2	3	1	1	10
	空気式救助マット				1				1
	マット型空気ジャッキ		1		1				2
	救命ゴムボート		3		1		1		5
	救命胴衣		26	9	11	2	9	3	60
	救命索発射銃		1		1				2
	救助用縛帯		5		7				12
	舟型担架		2		2				4
	緩降器		1		1				2
	ロープ登降機		2		2				4
	油圧スプレッダー		1		1				2
	油圧切断機		1		1				2
	油圧ジャッキ		1		1				2
	簡易式ウィンチ		1		1				2
	エンジンカッター		1		1				2
エアーソー		1		1				2	
チェーンソー		1	1	1	1	1	1	6	
ハンマードリル		1		1				2	

消 防 資 機 材 の 保 有 状 況

(令和5年4月1日現在)

種 別	所 属	本 部	相馬消防署		南相馬消防署				計
			本 署	新地分署	本 署	小高分署	鹿島分署	飯館分署	
救 助 用 器 具	削 岩 機		1		1				2
	エアーカッター		1		1				2
	ボルトクリッパー		2		3	2	1		8
	ガス溶断機				1				1
	空気呼吸器	7	25	8	23	10	13	8	94
	安全マット	2	1	1	1	1	1	1	8
救 急 用 器 具 等	高度救命処置用資機材一式		2	1	1	1	1	1	7
	AED(自動体外式除細動器)	1	3	2	2	2	2	2	14
	患者監視装置	1	2	1	2	1	1	1	9
	自動式心肺蘇生装置	1	2	1	1	1	1	1	8
	ショックパンツ		1	1	2		1	1	6
	室内紫外線殺菌装置			1	1	1	1		4
	EOG方式ガス滅菌器								
	レサシアン		4		3			3	10
	リトルアン		26	6	25	6	26	5	94
	AEDトレーナー		15	7	19	5	11	7	64
高度訓練用資機材一式		1		1				2	
そ の 他 の 器 具 等	有毒性ガス測定器		5	1	4	1	1		12
	酸素濃度測定器		3		2	1	1		7
	放射線測定器		2	1	2	1	2	2	10
	可燃性ガス測定器		3		2	1	1		7
	火災原因調査用ガス検知器		2		1	1	1	1	6
	高低圧用検電器		3	1	2	1	1	1	9
	原因調査用資機材ケース		2	1	1		1	1	6
	ポケット型線量計	414	34	13	42	13	13	13	542
	放射線測定器	65	4	2	3	1	2	2	79
	耐熱防護服			1	2	2	4		9
	耐電用防護服					2			2
	指揮隊ベスト		9	3	16	3	3	4	38
	クリーニングベスト	6	18	5	14	5	5	5	58
	化学防護服(陽圧式)		11		11				22
	放射能防護服								
発動発電機	3	3	2	5	2	2	3	20	

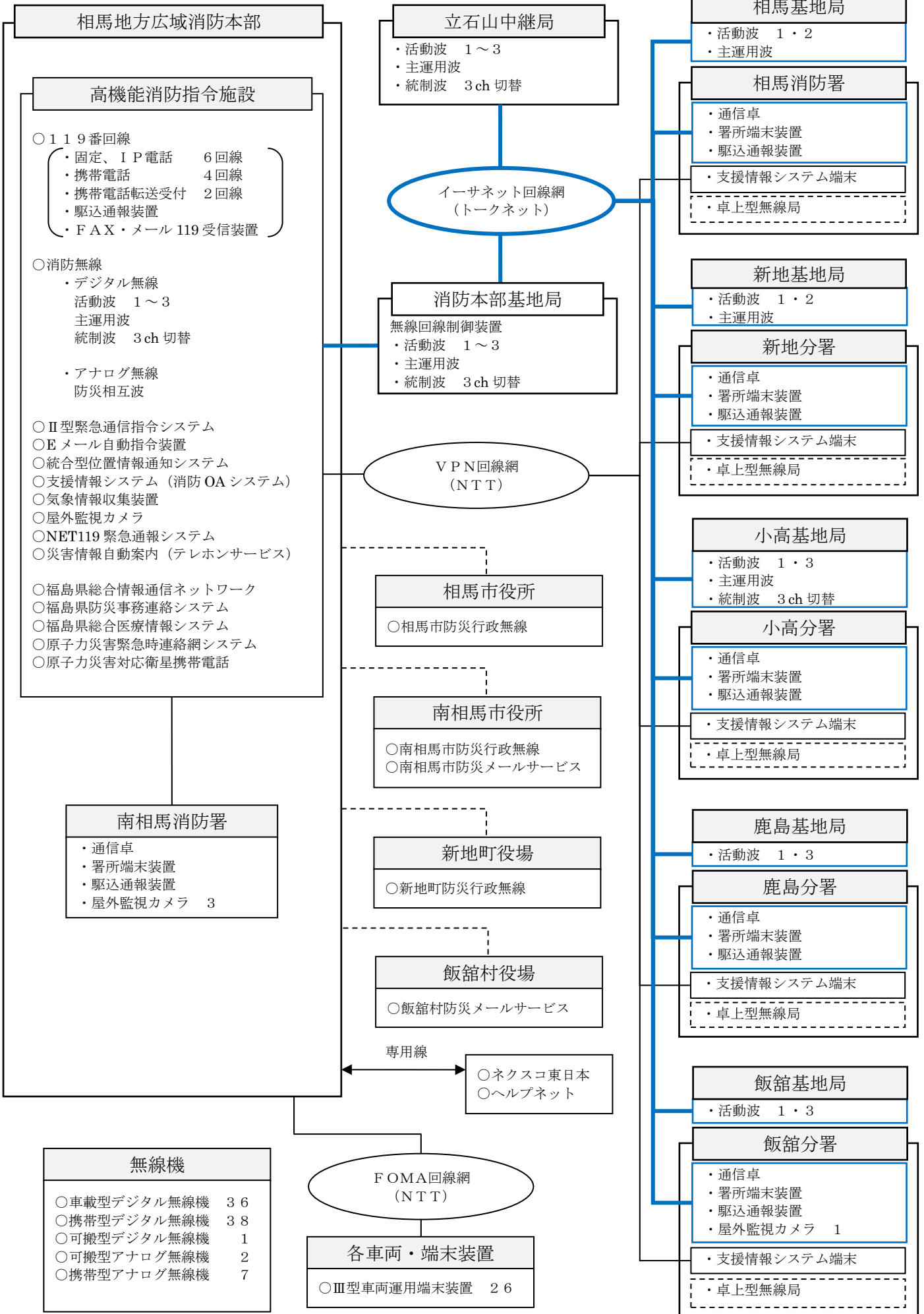
消 防 資 機 材 の 保 有 状 況

(令和5年4月1日現在)

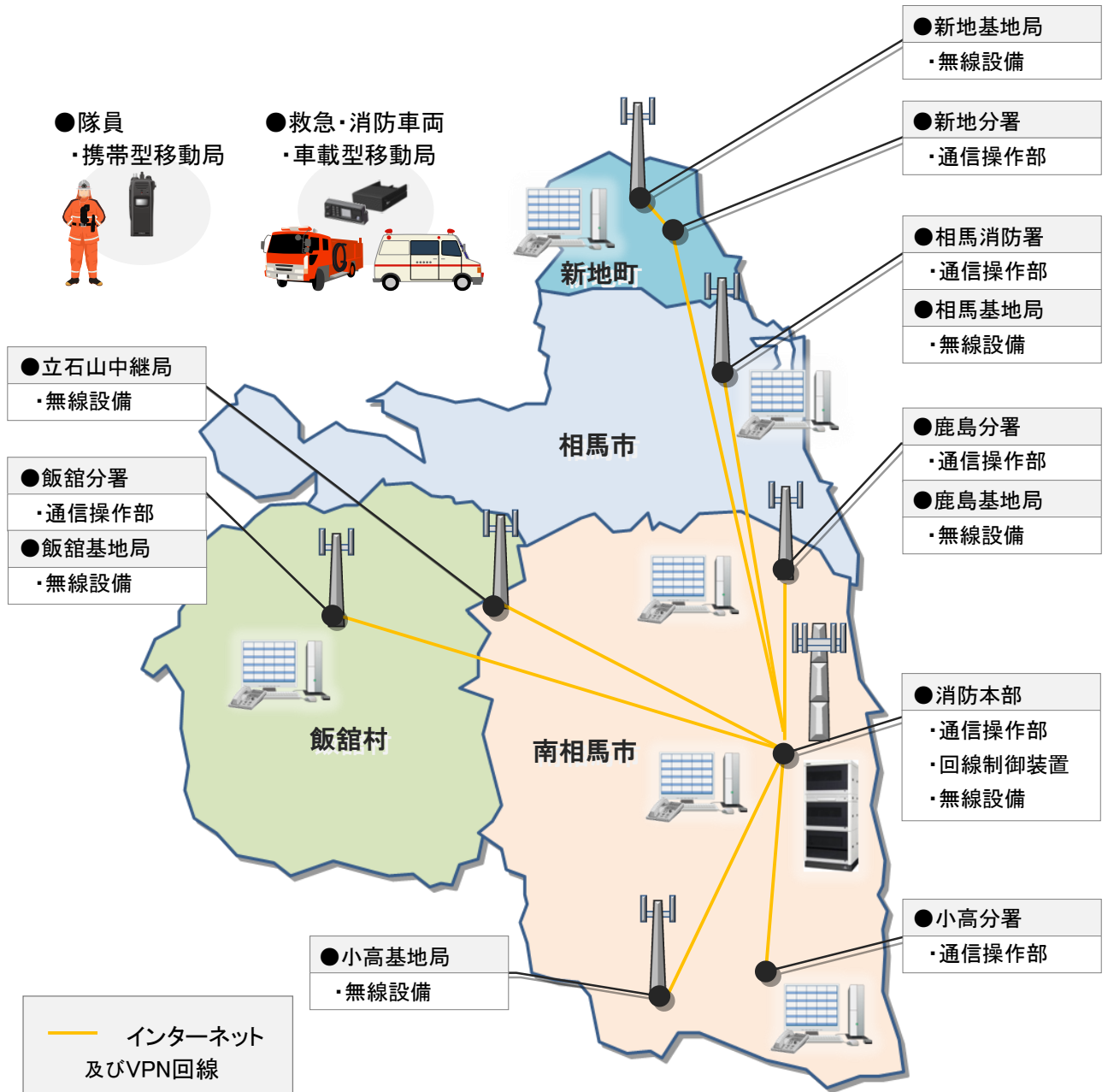
種 別	所 属	本 部	相馬消防署		南相馬消防署				計
			本 署	新地分署	本 署	小高 分署	鹿島 分署	飯館 分署	
その他 の 器 具 等	送 排 風 機		1		1				2
	投 光 器	1	3	1	6	2	1	1	15
	可 搬 式 温 風 機	3							3
	可 搬 式 冷 風 機	3							3
	エ ア ー テ ン ト	3			2				5
	除 染 テ ン ト	1							1
	ホ ー ス 巻 取 り 機		2	1	2	2	2	2	11
	媒 介 金 具		17	12	18	18	11	9	85
	マ ル チ ボ ー ル バ ル ブ		4	1	7	1	4	1	18
	M C ス イ ベ ル		3	1		2	3		9
	へ り 用 吹 き 流 し		2	1	3	1	1	2	10
	現 場 指 揮 本 部 旗	1	1	1	2	1	1	1	8
	A 火 災 用 泡 消 火 薬 剤	1	13	10	15	9	10	9	67
	A 火 災 訓 練 用 泡 消 火 薬 剤	5	1	4	11	6	4	3	34
	B 火 災 用 泡 消 火 薬 剤		69	13	65	15	15	16	193
B 火 災 訓 練 用 泡 消 火 薬 剤				12		7		19	
資 器 材 搬 送 バ ッ ク	5	7		10				22	
水 難 救 助 器 具	ウ エ ッ ト ス ー ツ		17		11				28
	レ ス キ ュ ー チ ュ ー ブ		2		2				4
	ポ ー タ ー ボ ー ト		1		1				2
	ラ イ フ ジ ャ ケ ッ ト	11	30	6	18	11	10	9	95
	セ フ テ ィ ー ボ ー ド		3		2				5

通信系統図

令和5年4月1日現在



■ 消防救急デジタル無線 整備概要



通 信 施 設 状 況

(令和5年4月1日現在)

種 別	所 属	本 部	相馬消防署		南相馬消防署			計
			本 署	新地 分署	本 署	小高 分署	鹿島 分署	
固定、IP119専用電話		6						6
携帯119専用電話		4						4
メー ル 119		1						1
F A X 119		1						1
直 通 電 話		2	1	1	1	1	1	8
一 般 加 入 電 話		4	2	2	2	2	2	16
庁 内 電 話		20	14	4	16	9	11	82
電 話 フ ァ ッ ク ス		3	1	1	1	1	1	9
携 帯 電 話		3	2	1	2	1	1	11
指 令 用 放 送 設 備		1	1	1	1	1	1	7
非 常 用 サ イ レ ン			1	1		1	1	4
駆 け 込 み			1	1	1	1	1	6

無 線 機 配 備 状 況(アナログ無線)

(令和5年4月1日現在)

所属	無線種別	呼 出 名 称	製造社名	出力W	搭載周波数	備考
	可搬型移動局	そうまぼうさい1	日立電子	10	防災相互波	
		そうまぼうさい2	日立電子	10	防災相互波	
消 防 本 部	携帯型移動局	そうまぼうさい11	日立電子	5	防災相互波	
		そうまぼうさい12	日立電子	5	防災相互波	
		そうまぼうさい13	日立電子	5	防災相互波	
		そうまぼうさい14	日立電子	5	防災相互波	
		そうまぼうさい15	日立電子	5	防災相互波	
		そうまぼうさい16	日立電子	5	防災相互波	
相馬		そうまさいたい11	ケンウッド	5	防災相互波	

無線機配備状況(デジタル無線)

凡例 (搭載周波数) ①活動波1 ②活動波2 ③活動波3 ④主運用波4 ⑤主運用波1~7 ⑥統制波1~3
(令和5年4月1日現在)

所属	無線種別	呼出名称	製造社名	出力W	搭載周波数	備考	
消防本部	基地局	そうましょうぼうたていしやまちゅうけい	日立	20	①②③④ ⑥		
	基地局	そうましょうぼうほんぶ	日立	20	①②③④ ⑥		
	卓上型	そうましょうぼうほんぶ1	日立	5	①②③④ ⑥		
	車載型	ほんぶしれい1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		ほんぶしれい2	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		さいがいきゅうえん1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		おだかタンク1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		ほんぶきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		携帯型	ほんぶ11	日立	2	①②③ ⑤⑥	
	ほんぶ12		日立	2	①②③ ⑤⑥		
	ほんぶ13		日立	2	①②③ ⑤⑥		
	ほんぶ14		日立	2	①②③ ⑤⑥		
	ほんぶ15		日立	2	①②③ ⑤⑥		
	ほんぶ16		日立	2	①②③ ⑤⑥		
可搬型	ほんぶ21	日立	5	①②③ ⑤⑥			
相馬消防署	本署	基地局	しょうぼうそうま	日立	20	①② ④	
		卓上型	しょうぼうそうま1	日立	5	①②③④ ⑥	
	車載型	そうましき1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		そうましき2	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		そうまポンプ1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		そうまタンク1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		そうまきゅうじょ1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		そうまさいたい1	富士通	5	①②③ ⑤⑥	津波・大規模風水害対策車	
		そうまとくしゅ1	日立	5	①②③ ⑤⑥	ブーム付多目的消防ポンプ自動車	
		そうまきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		そうまきゅうきゅう2	日立	5	①②③ ⑤⑥		
	携帯型	そうま11	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま12	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま13	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま14	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま15	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま16	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま17	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま18	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		そうま19	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		新地分署	基地局	しょうぼうしんち	日立	20	①② ④
	卓上型		しょうぼうしんち1	日立	5	①②③④ ⑥	
	車載型		しんちしき1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
しんちポンプ1			日立	5	①②③ ⑤⑥		
しんちきゅうきゅう1			日立	5	①②③ ⑤⑥		
携帯型	しんち11		日立	2	①②③ ⑤⑥		
	しんち12		日立	2	①②③ ⑤⑥		
	しんち13	日立	2	①②③ ⑤⑥			

無線機配備状況(デジタル無線)


凡例 (搭載周波数) ①活動波1 ②活動波2 ③活動波3 ④主運用波4 ⑤主運用波1～7 ⑥統制波1～3
(令和5年4月1日現在)

所属	無線種別	呼出名称	製造社名	出力W	搭載周波数	備考	
南相馬消防署	本署	車載型	なんそうしき1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうしき2	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうポンプ1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうタンク1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうきゅうじょ1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうとくしゅ1	日立	5	①②③ ⑤⑥	ブーム付多目的消防ポンプ自動車
			なんそうとくさい1	日立	5	①②③ ⑤⑥	特殊災害対応消防支援車
			なんそうきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			なんそうきゅうきゅう2	日立	5	①②③ ⑤⑥	
	本署	携帯型	なんそう11	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう12	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう13	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう14	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう15	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう16	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう17	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう18	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			なんそう19	日立	2	①②③ ⑤⑥	
	小高分署	基地局	しょうぼうおだか	日立	20	① ③④ ⑥	
		卓上型	しょうぼうおだか1	日立	5	①②③④ ⑥	
		車載型	おだかしき1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			おだかポンプ1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
			おだかきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
		携帯型	おだか11	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			おだか12	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			おだか13	日立	2	①②③ ⑤⑥	
			おだか14	日立	2	①②③ ⑤⑥	
鹿島分署		基地局	しょうぼうかしま	日立	20	① ③	
		卓上型	しょうぼうかしま1	日立	5	①②③④ ⑥	
		車載型	かしましき1	日立	5	①②③ ⑤⑥	
	かしまポンプ1		日立	5	①②③ ⑤⑥		
	なんそうかがく1		日立	5	①②③ ⑤⑥		
	かしまきゅうきゅう1		日立	5	①②③ ⑤⑥		
	携帯型	かしま11	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		かしま12	日立	2	①②③ ⑤⑥		
かしま13		日立	2	①②③ ⑤⑥			
かしま14		日立	2	①②③ ⑤⑥			
飯館分署	基地局	しょうぼういいたて	日立	20	① ③		
	卓上型	しょうぼういいたて1	日立	5	①②③④ ⑥		
	車載型	いいたてしき1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		いいたてポンプ1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
		いいたてきゅうきゅう1	日立	5	①②③ ⑤⑥		
	携帯型	いいたて11	日立	2	①②③ ⑤⑥		
		いいたて12	日立	2	①②③ ⑤⑥		
いいたて13		日立	2	①②③ ⑤⑥			


消 防 水 利 の 現 有 状 況

(令和5年4月 1 日現在)

種 別		所 属	相馬消防署		南 相 馬 消 防 署			計	
			本 署	新地 分署	本 署	小高 分署	鹿島 分署		飯館 分署
消 火 栓	公 設	地 下 (単)	284	2	737	47	155	34	1,259
		地 下 (双)					8		8
		地 上 (単)	236	212	3	180	15	176	822
		地 上 (双)	1	50		2	1	1	55
	私 設	地 下 (単)				1			1
		地 上 (単)	2						2
防 火 水 槽	公 設	100 m ³ 以 上	2	1		2	2		7
		40~100m ³ 未満	73	37	163	72	108	62	515
		20~ 40m ³ 未満	13	3	4	10	21		51
	私 設	100 m ³ 以 上	1		1				2
		40~100m ³ 未満	5		23	13	10	1	52
		20~ 40m ³ 未満	1						1
そ の 他	井 戸	40 m ³ 以 上			3				3
		20~ 40m ³ 未満							
	河 川 ・ 溝 等								
	海 ・ 湖								
	プ ー ル	11	3	16	6	4	1	41	
	濠 ・ 池 等	7						7	
	下 水 道								
そ の 他	68	4	30	15				117	
合 計			704	312	980	348	324	275	2,943





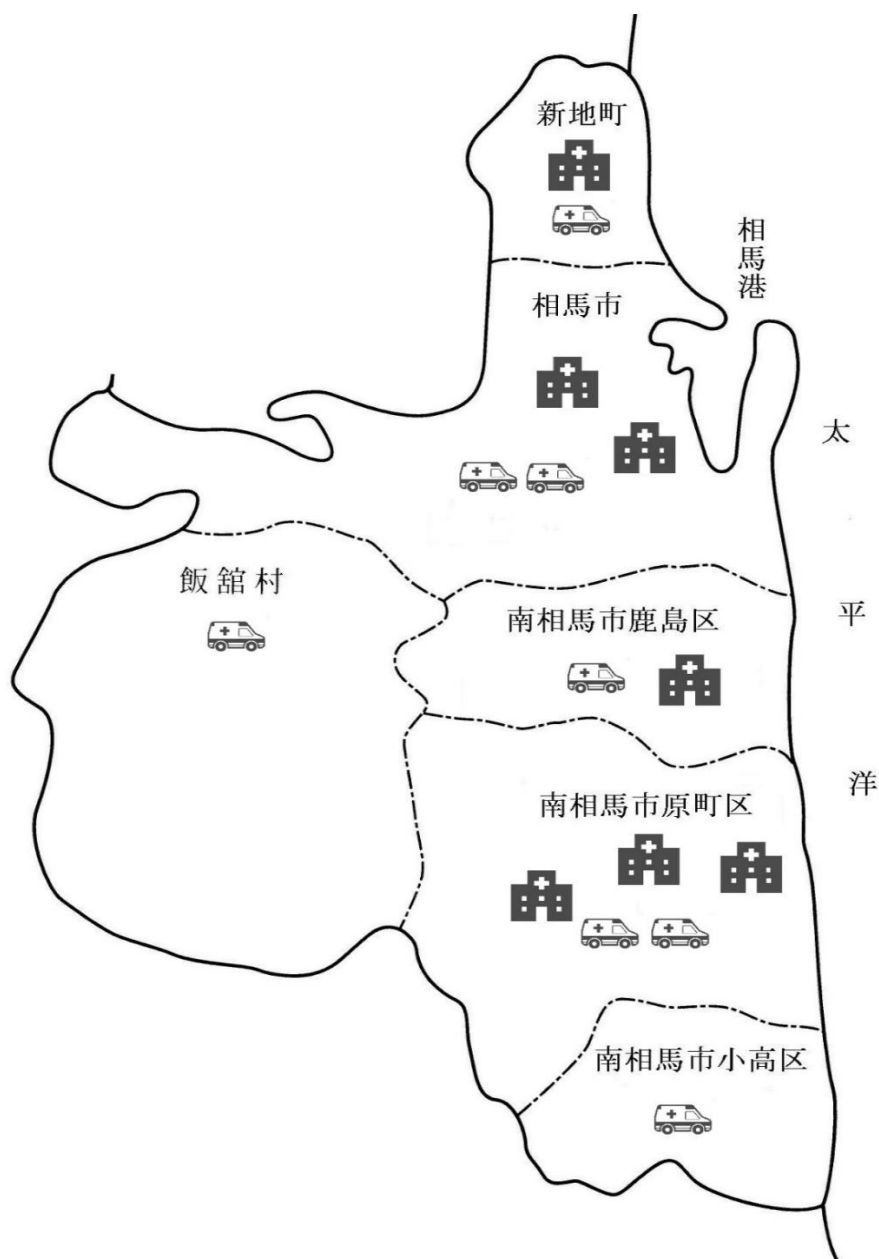
救 急 統 計



相馬地方救急現勢分布図

凡 例

	救急指定病院
	高規格救急車



救急出場件数及び搬送人員 (令和4年)

所属別		件数	出場件数	搬送人員
相馬消防署	本署	1,419	1,419	1,240
	新地分署	355		
南相馬消防署	本署	2,034	2,034	1,629
	小高分署	320		
	鹿島分署	540		
	飯舘分署	118		
合計		4,786	4,786	3,972

救急隊別事故種別出場件数

(令和4年)

種別 救急隊別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
相馬隊	1	8	2	81	15	11	178	4	15	937	167	1,419
南相馬隊	1	2	2	92	17	8	250	8	16	1,427	211	2,034
小高隊				19	3	2	38		3	243	12	320
鹿島隊		5		20	8	3	62		2	388	52	540
新地隊		3		24	8	1	44		4	228	43	355
飯舘隊				2	4		17	1	1	90	3	118
計	2	18	4	238	55	25	589	13	41	3,313	488	4,786

傷病程度別搬送人員数

(令和4年)

種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡		1		2			5		2	105	1	116
重症		4		10	11	1	88		6	333	139	592
中等症		7		51	25	6	202		11	1,388	322	2,012
軽症	1	1	1	131	18	14	187	7	4	866	22	1,252
その他												
計	1	13	1	194	54	21	482	7	23	2,692	484	3,972

※その他のその他は防災ヘリ収容

年齢区分別搬送人員数

(令和4年)

種別 区分別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										1	11	12
乳幼児				4			5			60	10	79
少年				11		17	9		1	33	6	77
成人	1	3	1	112	36	3	98	5	15	664	151	1,089
老人		10		67	18	1	370	2	7	1,934	306	2,715
計	1	13	1	194	54	21	482	7	23	2,692	484	3,972

曜 日 別 出 場 件 数

(令和4年)

曜 日	日	月	火	水	木	金	土	計
件 数	638	725	763	690	658	694	618	4,786

時 間 別 出 場 件 数

(令和4年)

時間帯別 事故種別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
時 間 別 内 訳	0 ~ 2		3		7			17	1	1	125	5	159
	2 ~ 4							12	3	3	124	5	147
	4 ~ 6		3		7			25	1	2	153	3	194
	6 ~ 8		5		34			52		5	315	12	423
	8 ~ 10		3		35	10		100	1	4	464	77	694
	10 ~ 12		1	1	34	16	11	74		4	406	111	658
	12 ~ 14		1	1	32	9	6	70		4	315	87	525
	14 ~ 16				25	13	6	71		4	317	77	513
	16 ~ 18	2		1	34	6	1	59	1	3	312	57	476
	18 ~ 20				12		1	45	1	7	345	20	431
	20 ~ 22				13			48	2	1	261	23	348
	22 ~ 24		2	1	5	1		16	3	3	176	11	218
計		2	18	4	238	55	25	589	13	41	3,313	488	4,786

覚 知 別 出 場 件 数

(令和4年)

種 別	119番	一般電話	駆け付け	その他	計
件 数	4,562	184	14	26	4,786

(119番は携帯119番IP電話も含む)

救急隊員の行った応急処置状況

(令和4年)

区分	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	搬送人員		2,692	194	482	604
応急処置対象人員		2,692	194	482	598	3,966

手当別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	止血		15	9	58	16
固定		12	95	60	20	187
人工呼吸		85	2	4	8	99
胸骨圧迫		11	1		1	13
心肺蘇生		101	2	5	6	114
うち自動		19			2	21
酸素吸入		618	12	33	163	826
気道確保		155	3	11	9	178
うちエアウェイ						
うち食道閉鎖式エアウェイ		7		1		8
うち気管挿管		1				1
静脈路確保輸液		62	1	3	2	68
うち薬剤投与		22	1	2	2	27
除細動		7	1			8
異物除去		4		2		6
保温		1,865	107	308	416	2,696
被覆		17	36	80	27	160
在宅療法		67	1		16	84
血圧測定		2,504	190	469	566	3,729
聴診器聴取		970	72	85	81	1,208
血中酸素飽和度測定		2,552	193	466	576	3,787
心電図測定		2,321	96	285	336	3,038

福島県ドクターヘリ要請概要

(平成20年1月28日運用開始)

1 月別事故種別要請件数

(令和4年)

月別	事故種別												計
	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
1				1						1			2
2													
3													
4					1						1		2
5				1									1
6					2		1				1		4
7							1			2			3
8					1		2						3
9													
10													
11					2		1						3
12							1						1
計				2	6		6			3	2		19

2 所属別事故種別要請件数

(令和4年)

所属別	事故種別												計
	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	その他	
相馬				1	2		2			1	1		7
新地							1						1
南相馬				1	1		2			1	1		6
小高													
鹿島					3		1						4
飯舘										1			1
計				2	6		6			3	2		19

常磐自動車道関連事故対応状況

平成24年 4月8日 常磐道相馬IC～南相馬IC間開通

平成26年12月6日 常磐道浪江IC～山元IC間開通

平成27年 3月1日 常磐高速自動車道全線開通

(常磐富岡IC～浪江IC間開通)

○令和4年救急出場

	発生日時	発生場所	種別	出動所属	傷病者	出動隊	出動人員	事故概要	備考
1	令和4年1月30日	上り車線 254.1KP付近	交通	相馬	—	相馬A2 相馬R1 相馬L1 南相A1 南相R1 南相L1	20名	交通	普通乗用車と猪の衝突事故。負傷者なし。
2	令和4年3月20日	上り車線 277.1KP付近	交通	新地	—	新地A1 相馬R1 相馬L1	11名	交通	高速道路上に40～50歳代の男性がいるが詳細不明との情報も、該当者発見に至らず。
3	令和4年3月20日	上り車線 256.3KP付近	交通	南相馬	1名	南相A1 南相R1 南相T1	11名	47歳男性 車両横転 単独事故	軽症
4	令和4年6月3日	鹿島SA	急病	相馬	—	相馬A2 相馬T1	7名	急病	72歳男性がPA内の乗用車内にて心肺停止状態で発見されたもの。死亡が確認され不搬送。
5	令和5年6月26日	鹿島SA	一般	相馬	1名	相馬A2 相馬R1	6名	79歳女性 転倒外傷	中等症
6	令和4年6月29日	下り車線 275.0KP付近	交通	新地	1名	新地A1 相馬R1 相馬L1	10名	55歳女性 乗用車 単独事故	軽症
7	令和4年7月13日	鹿島SA	急病	相馬	1名	相馬A2	3名	52歳男性 腰背部痛	中等症

	発生日時	発生場所	種別	出動所属	傷病者	出動隊	出動人員	事故概要	備考
8	令和4年7月18日	上り車線 257.4KP付近	交通	相馬	—	相馬A2 相馬R1 相馬L1 南相A1 南相R1 南相L1	20名	交通	バイクの単独事故との情報であったが、バイクの故障であり傷病者なく誤報。
9	令和4年7月23日	下り車線 257.5KP付近	交通	小高	1名	小高A1 南相R1 南相L1 新地A1 相馬R1 相馬L1	18名	16歳男性 バイクの 単独事故	軽症
10	令和4年7月23日	下り車線 266.0KP付近	交通	小高	—	小高A1 南相R1 南相L1 新地A1 相馬R1 相馬L1	18名	交通	バイクの単独事故により受傷。緊急性なく不搬送。
11	令和4年8月15日	下り車線 237.2KP付近	急病	南相馬	1名	南相A1 南相T1	6名	53歳男性 動悸及び 手足の痺れ	軽症
12	令和4年9月6日	下り車線 247.1KP付近	急病	南相馬	—	南相A1 南相T1	6名	急病	呂律障害との情報であったが症状は消失、喉の渇きのための訴えで緊急性なく不搬送。
13	令和4年9月15日	下り車線 286KP付近	交通	新地	—	新地A1 本部S2 相馬R1 相馬L1	12名	交通	軽乗用車の横転事故。緊急性なく不搬送。
14	令和4年10月2日	鹿島SA	一般	相馬	1名	相馬A2 相馬T1	6名	90歳女性 転倒外傷	中等症
15	令和4年10月9日	下り車線 265.4KP付近 Dランプ上	交通	南相馬	1名	南相A1 南相R1 南相L1 新地A1 相馬R1 相馬L1	18名	52歳女性 バイクの 単独事故	軽症
16	令和4年11月3日	鹿島SA	急病	相馬	—	相馬A2 相馬T1	7名	急病	トラックの助手席に乗車していた40歳男性がてんかん発作を発症。救急隊到着時、症状回復しており搬送拒否のため不搬送。

過去10年間の救急業務の推移

区 分	出場件数	搬送人員	一日平均 出場件数	内 訳 (件数)				
				急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
平成25年	3,811	3,478	10.4	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				2,500	328	477	360	146
平成26年	4,317	3,819	11.8	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				2,730	432	532	466	157
平成27年	4,513	4,038	12.4	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				2,864	446	547	489	167
平成28年	4,600	4,097	12.6	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				3,030	399	582	436	153
平成29年	4,558	4,144	12.5	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				2,983	357	571	485	162
平成30年	4,716	4,190	12.9	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				3,096	360	579	487	194
令和元年	4,679	4,087	12.8	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				3,157	304	562	532	124
令和2年	4,197	3,657	11.5	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				2,819	240	587	429	122
令和3年	4,223	3,636	11.6	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				2,845	235	554	467	122
令和4年	4,786	3,972	13.1	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
				3,313	238	589	486	160

救命講習会の実施状況

年 別		相馬消防署		南 相 馬 消 防 署			計	
		本 署	新地分署	本 署	小高分署	鹿島分署		飯館分署
平成7年 ～ 平成22年	回 数	571	108	743	315	191	196	2,124
	受講者数	16,957	4,034	15,858	8,149	5,127	3,990	54,115
平成23年	回 数	16	4	21	4	11	3	59
	受講者数	301	169	463	46	222	51	1,252
平成24年	回 数	37	8	29		8	1	83
	受講者数	1,131	323	508		215	6	2,183
平成25年	回 数	25	9	38	2	11		85
	受講者数	801	264	642	51	268		2,026
平成26年	回 数	38	8	39	11	11	4	111
	受講者数	1,041	338	757	373	246	45	2,800
平成27年	回 数	34	12	30	10	11	1	98
	受講者数	1,086	384	685	210	315	14	2,694
平成28年	回 数	32	12	35	7	14	10	110
	受講者数	1,049	304	856	233	295	205	2,942
平成29年	回 数	32	3	34	6	8	6	89
	受講者数	973	139	866	92	247	59	2,376
平成30年	回 数	32	7	43	7	7	4	100
	受講者数	883	184	907	129	162	37	2,302
令和元年	回 数	34	12	41	8	15	6	116
	受講者数	810	183	1,151	85	322	62	2,613
令和2年	回 数	18	2	28	1	2	1	52
	受講者数	223	15	248	7	22	4	519
令和3年	回 数	23	5	38	9	1	4	80
	受講者数	166	93	321	72	8	29	689
令和4年	回 数	37	6	46	11	1	7	108
	受講者数	238	45	413	94	9	61	860
計	回 数	929	196	1,165	391	291	243	3,215
	受講者数	25,659	6,475	23,675	9,541	7,458	4,563	77,371

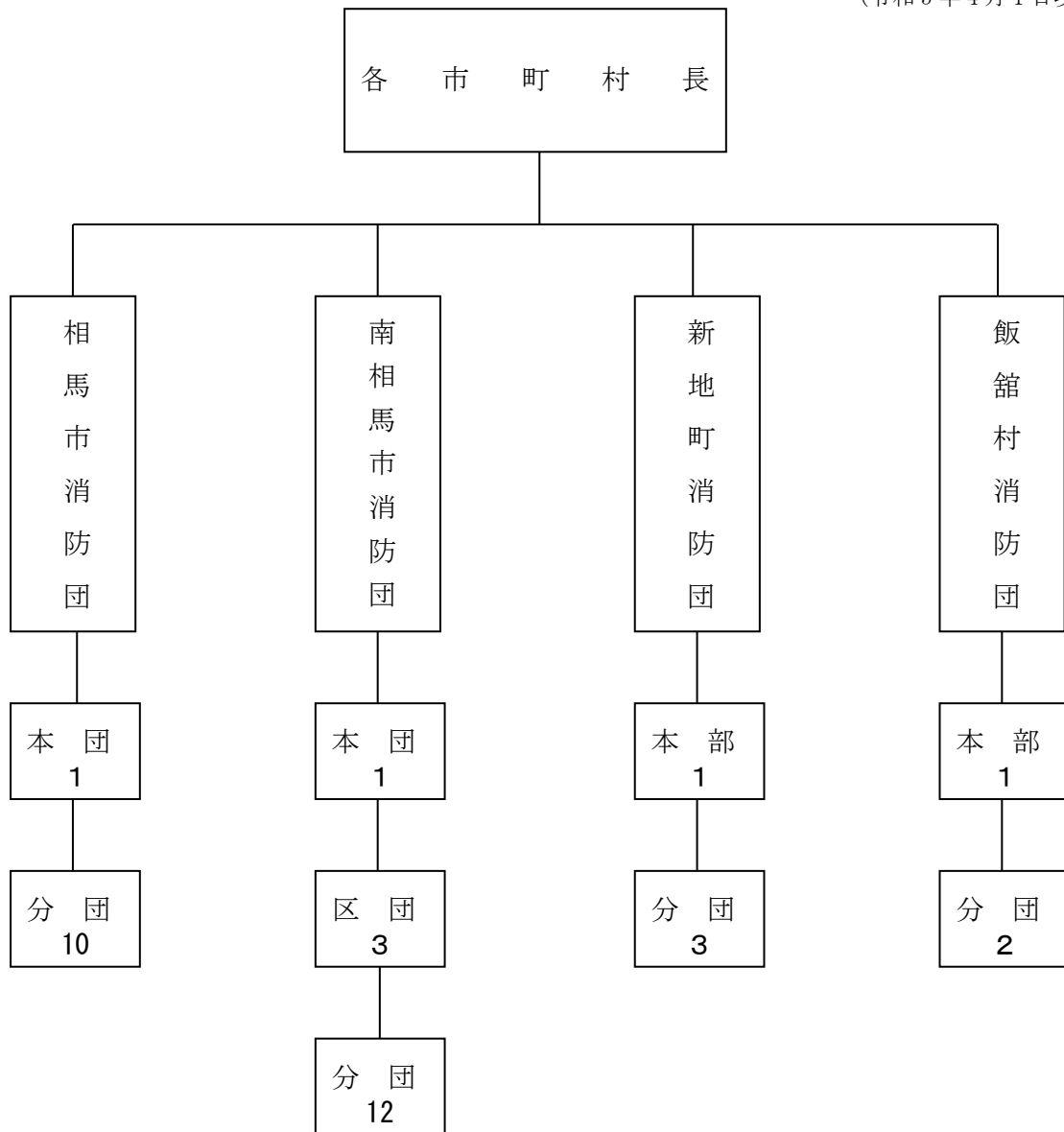


消防団・関係団体等



相馬地方広域市町村消防団の組織

(令和5年4月1日現在)



市町村消防団名	団 長 名	副 団 長 名	定 員	実 員
相馬市消防団	鎌 田 重 昭	米 本 薫 嶋 田 正 照	5 6 0	4 7 1 (2)
南相馬市消防団	片 岡 芳 廣	佐 藤 弘 藤 田 代 一	1, 3 5 6	8 8 6 (24)
新地町消防団	岡 崎 仁 一	鈴 木 正 志	3 0 5	2 6 5 (8)
飯舘村消防団	赤 石 澤 傳	大 和 田 保 男	2 1 6	1 4 6 (0)
合 計			2, 4 3 7	1, 7 6 8 (34)

※ () 内は、女性消防団員

階 級 別 実 員 数

(令和5年4月1日現在)

階 級 消防団名		団	副	副	分	副	部	班	団	計
		長	団	区	団	分	長	長	員	
相馬市消防団		1	2		12	12	12	46	386	471
南 相 馬 市 消 防 団	原町区団		1 (区団長 兼務)	1	7	12	33	68	257	379
	小高区団	1		1	4	11	22	23	105	167
	鹿島区団		1 (区団長 兼務)	1	5	13	24	24	272	340
	計	1	2	3	16	36	79	115	634	886
新地町消防団		1	1		4	6	16	21	216	265
飯舘村消防団		1	1		3	8	21	25	87	146
合 計		4	6	3	35	62	128	207	1,323	1,768

消 防 車 両 の 現 況

(令和5年4月1日現在)

種 別 市町村		水 槽 付 き	普 通	小 型 動 力	小 型 動 力	広 報 車 等
		ポンプ自動車	ポンプ自動車	積 載 付 車	ポンプ	
相 馬 市			5	40	2	
南 相 馬 市	原 町 区	2	2	30	2	1
	小 高 区		2	27		
	鹿 島 区		3	24	1	1
	計	2	7	81	3	2
新 地 町			7	10	2	1
飯 舘 村			2	18		
合 計		2	21	149	7	3

福島県消防協会相馬支部顧問

(令和5年4月1日現在)

役職名	氏名	在職名
顧問	関根昌典	福島県相双地方振興局長
〃	本多文彦	南相馬警察署長
〃	佐藤昭仁	相馬警察署長
〃	志賀丈彦	元福島県消防協会相馬支部長
〃	但野安俊	元福島県消防協会相馬支部長
〃	佐藤光孝	元福島県消防協会相馬支部長
〃	荒利喜	元福島県消防協会相馬支部長
〃	荒忠夫	元福島県消防協会相馬支部長
〃	長澤初男	元福島県消防協会相馬支部長
〃	山見重信	前福島県消防協会相馬支部長

福島県消防協会相馬支部役員

(令和5年4月1日現在)

役職名	氏名	在職名
支部長	片岡芳廣	南相馬市消防団長
副支部長	赤石澤傳	飯舘村消防団長
〃	佐藤弘	南相馬市消防団副団長 兼鹿島区団長
常務理事	五賀和広	相馬地方広域消防本部消防長
理事	藤田代一	南相馬市消防団副団長 兼原町区団長
監事	鎌田重昭	相馬市消防団長
〃	岡崎仁一	新地町消防団長

消防関係団体等の結成状況

(令和5年4月1日現在)

1 相馬地方

名 称	代 表 者 名	結成年月日	会 員 数
相馬地方女性消防隊連絡協議会	渡部 順子	S63. 10. 1	6
相馬地方消防設備協会	菅野 利男	S51. 4. 10	45
相馬地方防火安全協会	太田 利宗	H18. 6. 29	467

2 各市町村女性消防隊

名 称	隊 長 名	結成年月日	隊 員 数
相馬市女性消防隊	渡部 順子	S41. 10. 21	11,251
南相馬市女性消防隊	佐藤 妙子	H18. 1. 1	14,894
原町区隊	佐藤 妙子	S51. 9. 14	10,470
小高区隊	小林 ちい子	S50. 10. 30	1,841
鹿島区隊	今野 廣子	S59. 2. 15	2,583
新地町女性防火クラブ	横山 幸子	S59. 4. 1	2,785
飯館村女性消防隊	今野 スイ子	S39. 4. 1	13

3 自主防災組織

(1) 結成状況

市 町 村 別	行 政 区 数	結成行政区数	結 成 率 (%)	
相馬市	76	73	96.1	
南相馬市	原町区	101	93	92.1
	小高区	39	39	100.0
	鹿島区	40	40	100.0
	小計	180	172	95.6
新地町	15	15	100.0	
飯館村	20	20	100.0	
合 計	291	280	96.2	

(2)市町村別組織一覧

相馬市

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	細田地区自主防災自衛団	S63. 1. 3	39	台町地区自主防災会	H14. 7. 12
2	上古金自主防災会	H13. 4. 1	40	八幡地区防災会	H14. 8. 1
3	石上地区自主防災会	H13. 3. 11	41	中村西部第一区防災会	H14. 7. 22
4	相馬市椎木自治会	H13. 4. 14	42	松川地区防災会	H14. 8. 1
5	雇用促進住宅自主防災会	H13. 4. 15	43	馬場野防災会	H14. 8. 1
6	塚部防災会	H13. 4. 1	44	程田防災会	H14. 8. 1
7	鎗町地区自主防災会	H13. 5. 27	45	中村西部第2区防災会	H14. 7. 27
8	初野防災会	H13. 6. 15	46	山岸自主防災会	H14. 8. 1
9	荒井町自主防災会(中村西部5区)	H13. 6. 20	47	今田防災会	H14. 7. 31
10	袋町親交会自主防災会	H13. 6. 21	48	粟津防災会	H14. 8. 14
11	台行政区自主防災会	H13. 6. 27	49	物倉防災会	H14. 8. 18
12	岩子地区防災会	H13. 5. 1	50	大上防災会	H14. 8. 19
13	玉野地区自主防災会(四行政区)	H13. 8. 19	51	小田原防災会	H14. 8. 19
14	金谷原防災会	H13. 9. 1	52	並木防災会	H14. 8. 19
15	高松地区自主防災会	H13. 7. 8	53	中村西部第11区防災会	H14. 7. 15
16	黒木地域防災会	H13. 10. 19	54	中平防災会	H14. 8. 26
17	日下石防災会	H13. 4. 1	55	柏崎地区防災会	H14. 8. 5
18	立谷防災会	H13. 9. 30	56	新田防災会	H14. 9. 1
19	上立谷防災会	H13. 11. 1	57	百槻自治会防災会	H14. 10. 1
20	上赤木防災会	H13. 11. 1	58	坪ヶ迫自主防災会	H14. 9. 1
21	下赤木防災会	H13. 11. 1	59	北飯渕防災会	H14. 9. 14
22	柚木防災会	H13. 10. 8	60	南飯渕防災会	H14. 10. 1
23	獺庭地区防災会(磯部第1区)	H14. 2. 24	61	小野地区自主防災会	H14. 9. 15
24	立切防災会(磯部第1区)	H14. 3. 6	62	駅東中部5区防災会	H14. 10. 20
25	蒲庭地区防災会	H14. 3. 6	63	本笑防災会	H15. 1. 2
26	磯部第4区自主防災会	H14. 3. 7	64	刈敷田地区防災会	H15. 2. 23
27	成田地区自主防災会	H14. 1. 27	65	中村西部10区自主防災会	H15. 3. 30
28	向町防災組織	H14. 4. 1	66	中村西部第9区防災会	H15. 2. 16
29	大坪地区自主防災会	H14. 1. 16	67	和田地区防災会	H16. 9. 11
30	横川自主防災会	H14. 4. 1	68	駅前新和会自主防災会(中村西部5区)	H17. 9. 1
31	緑ヶ丘団地防災会	H14. 5. 1	69	中村西部6区自主防災会	H18. 9. 1
32	西部12区防災会	H14. 5. 20	70	中村西部8区防災会	H20. 7. 1
33	新沼・北小泉地区防災会	H14. 6. 20	71	北高野団地自主防災会	H30. 4. 1
34	富沢防災会	H14. 4. 1	72	南ノ入自主防災会	H31. 4. 19
35	須萱防災会	H14. 7. 1	73	中村西部第4区自主防災会	R 2. 4. 8
36	尾浜地区防災会	H14. 7. 1			
37	北原釜地区防災会	H14. 7. 1			
38	南原釜地区防災会	H14. 7. 1			

※網掛けは解散若しくは活動休止等

南相馬市（原町区）

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	小 沢 防 災 会	S62. 3. 1	39	雲 雀 ヲ 原 一 防 災 会	H14. 7. 1
2	深 野 防 災 会	H12. 4. 1	40	陣 ヲ 崎 一 防 災 会	H14. 7. 1
3	栄 町 一 防 災 会	H12. 5. 11	41	下 高 平 防 災 会	H14. 8. 25
4	馬 場 防 災 会	H12. 8. 1	42	上 渋 佐 防 災 会 ※下渋佐防災会と統合	H14. 9. 10
5	泉 防 災 会	H13. 4. 22			
6	二 見 町 一 防 災 会	H13. 4. 1	43	金 沢 防 災 会	H14. 10. 5
7	雲 雀 ヲ 原 三 防 災 会	H13. 4. 1	44	高 見 町 防 災 会	H14. 12. 1
8	青 葉 町 防 災 会	H13. 4. 1	45	長 野 防 災 会	H15. 3. 16
9	大 甕 上 防 災 会	H13. 6. 1	46	橋 本 町 四 防 災 会	H15. 4. 1
10	大 木 戸 一 防 災 会	H13. 9. 1	47	西 町 防 災 会	H15. 4. 1
11	仲 町 一 防 災 会	H13. 11. 1	48	北 原 防 災 会	H15. 4. 1
12	東 町 二 防 災 会	H13. 12. 1	49	二 見 町 二 防 災 会	H15. 4. 1
13	大 甕 下 防 災 会	H14. 3. 3	50	北 泉 防 災 会	H15. 4. 1
14	石 神 防 災 会	H14. 4. 1	51	上 町 防 災 会	H15. 4. 1
15	押 釜 防 災 会	H14. 4. 1	52	上 高 平 二 防 災 会	H15. 4. 1
16	大 谷 防 災 会	H14. 4. 1	53	下 太 田 防 災 会	H15. 4. 1
17	仲 町 三 防 災 会	H14. 4. 1	54	橋 本 町 三 防 災 会	H15. 4. 1
18	下 北 高 平 防 災 会	H14. 4. 1	55	南 町 三 防 災 会	H15. 4. 1
19	江 井 防 災 会	H14. 4. 1	56	益 田 防 災 会	H15. 4. 1
20	桜 井 町 一 防 災 会	H14. 4. 1	57	旭 町 二 防 災 会	H15. 4. 30
21	萱 浜 防 災 会	H14. 4. 1	58	南 町 二 防 災 会	H15. 5. 15
22	雫 防 災 会	H14. 4. 1	59	北 新 田 防 災 会	H15. 5. 30
23	北 萱 浜 防 災 会	H14. 4. 1	60	高 倉 防 災 会	H15. 7. 1
24	小 浜 防 災 会	H14. 4. 1	61	東 町 一 防 災 会	H15. 7. 13
25	日 の 出 町 防 災 会	H14. 4. 1	62	錦 町 二 防 災 会	H15. 8. 1
26	大 原 防 災 会	H14. 4. 1	63	北 長 野 防 災 会	H15. 10. 1
27	雲 雀 ヲ 原 二 防 災 会	H14. 4. 1	64	仲 町 二 防 災 会	H15. 11. 1
28	鶴 谷 防 災 会	H14. 4. 1	65	堤 谷 防 災 会	H16. 1. 1
29	中 太 田 防 災 会	H14. 4. 1	66	上 北 高 平 一 防 災 会	H16. 1. 19
30	上 太 田 防 災 会	H14. 4. 1	67	上 北 高 平 二 防 災 会	H16. 1. 28
31	本 陣 前 三 防 災 会	H14. 4. 1	68	上 高 平 一 防 災 会	H16. 2. 1
32	高 一 防 災 会	H14. 4. 14	69	信 田 沢 防 災 会	H16. 2. 1
33	高 二 防 災 会	H14. 4. 14	70	牛 越 防 災 会	H16. 4. 1
34	国 見 町 一 防 災 会	H14. 5. 21	71	南 町 一 行 政 区 防 災 会	H16. 4. 16
35	国 見 町 二 防 災 会	H14. 5. 21	72	大 木 戸 二 防 災 会	H16. 6. 30
36	国 見 町 三 防 災 会	H14. 5. 21	73	下 江 井 防 災 会	H16. 8. 17
37	国 見 団 地 一 防 災 会	H14. 5. 21	74	矢 川 原 防 災 会	H16. 10. 1
38	上 北 高 平 三 防 災 会	H14. 6. 1	75	旭 町 一 防 災 会	H17. 4. 1

※網掛けは解散若しくは活動休止等

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
76	橋本町二防災会	H17. 4. 1	85	北町二行政区防災会	H20. 7. 1
77	桜井町二防災会	H17. 4. 1	86	本町一丁目防災会	H20. 9. 1
78	小川町一自主防災会	H17. 4. 1	87	小木迫自主防災会	H21. 4. 1
79	橋本町一丁目自主防災会	H17. 4. 15	88	陣ヶ崎二区防災会	H21. 4. 1
80	片倉自主防災会	H19. 3. 1	89	本町二区防災会	H21. 4. 1
81	三島町一防災会	H19. 4. 14	90	南町四防災会	H21. 4. 1
82	三島町二防災会	H19. 4. 14	91	本町三防災会	H21. 10. 1
83	錦町一区自主防災会	H20. 4. 1	92	本陣前二防災会	H26. 5. 29
84	北町一防災会	H20. 6. 1	93	牛来行政区防災会	H27. 10. 1

※は合同で防災会を結成しており、行政区としては93である

南相馬市（小高区）

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	塚原地区防災会	H 2. 4. 1	21	大田和防災会	H14. 4. 1
2	一区防災会	H13. 4. 1	22	南鳩原地区防災会	H14. 4. 1
3	二区防災会	H12. 11. 1	23	金谷防災会	H14. 4. 1
4	三区防災会	H12. 11. 1	24	摩辰防災会	H14. 4. 1
5	四区防災会	H12. 9. 1	25	女場自主防災会	H14. 4. 1
6	下蛭沢防災会	H13. 9. 1	26	飯崎行政区防災会	H14. 6. 1
7	五区防災会	H13. 9. 1	27	福岡防災会	H14. 6. 1
8	下浦防災会	H13. 11. 1	28	小高防災会	H14. 6. 1
9	泉沢防災会	H13. 11. 1	29	羽倉防災会	H14. 6. 1
10	岡田行政区自主防災会	H13. 12. 1	30	大富防災会	H14. 8. 1
11	浦尻防災会	H14. 1. 1	31	角間沢自主防災会	H14. 8. 1
12	行津防災会	H14. 1. 1	32	角部内防災会	H14. 9. 1
13	小屋木防災会	H14. 2. 1	33	大井防災会	H14. 9. 1
14	川房行政区防災会	H14. 2. 1	34	村上自主防災会	H14. 9. 1
15	片草防災会	H14. 3. 1	35	上蛭沢防災会	H14. 9. 10
16	吉名防災会	H14. 4. 1	36	川原田自主防災会	H14. 11. 1
17	北鳩原防災会	H14. 4. 1	37	井田川行政区自主防災会	H14. 10. 1
18	小谷防災会	H14. 4. 1	38	下耳谷自主防災会	H15. 6. 1
19	上浦防災会	H14. 4. 1	39	上耳谷自主防災会	H15. 9. 1
20	神山行政区防災会	H14. 4. 1			

南相馬市（鹿島区）

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	小山田防災会	H12. 6. 30	7	大谷地防災会	H12. 9. 13
2	南屋形防災会	H12. 7. 20	8	寺内防災会	H12. 9. 27
3	江垂防災会	H12. 8. 21	9	北海老防災会	H12. 10. 1
4	上寺内防災会	H12. 9. 1	10	車川防災会	H12. 10. 13
5	塩崎防災会	H12. 9. 1	11	永田防災会	H12. 10. 18
6	南柚木防災会	H12. 9. 1	12	白坂防災会	H12. 10. 20

※網掛けは解散若しくは活動休止等

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
13	御 山 防 災 会	H12.12.1	27	町 三 区 防 災 会	H13.9.4
14	檜 原 防 災 会	H12.12.23	28	横 手 防 災 会	H13.10.1
15	上 栢 窪 防 災 会	H12.12.24	29	牛 河 内 防 災 会	H13.11.1
16	川 子 防 災 会	H12.12.26	30	山 下 防 災 会	H13.11.7
17	北 屋 形 防 災 会	H13.1.24	31	岡 和 田 防 災 会	H13.12.1
18	栢 窪 防 災 会	H13.3.25	32	町 四 区 防 災 会	H14.3.22
19	角 川 原 防 災 会	H13.4.1	33	西 町 防 災 会	H14.4.1
20-1	北 右 田 防 災 会	H13.6.1	34	烏 崎 防 災 会	H14.4.1
20-2	南 右 田 防 災 会	H13.6.21	35	新 町 防 災 会	H14.4.10
21	台 田 中 防 災 会	H13.6.11	36	町 一 区 防 災 会	H14.4.10
22	大 内 防 災 会	H13.7.5	37	町 二 区 防 災 会	H14.7.29
23	永 渡 防 災 会	H13.8.1	38	小 島 田 防 災 会	H14.8.6
24	小 池 防 災 会	H13.8.1	39	三 里 防 災 会	H28.5.1
25	南 海 老 防 災 会	H13.9.1	40	西 川 原 団 地 防 災 会	H28.12.7
26	浮 田 防 災 会	H13.9.2			

新地町

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	第 5 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.3.4	5-2	第 7 行 政 区 自 主 防 災 会 (中 島 地 区)	H14.7.15
2	第 14 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.3.5	9	第 12 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.8.12
3	第 9 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.4.12	10	第 6 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.8.30
4	第 15 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.4.23	11	第 3 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.10.4
5-1	第 7 行 政 区 自 主 防 災 会 (町 地 区)	H14.5.17	12	第 10 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.10.28
6	第 11 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.5.25	13	第 13 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.10.28
7	第 8 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.6.6	14	第 2 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.10.29
8	第 4 行 政 区 自 主 防 災 会	H14.7.1	15	第 1 行 政 区 自 主 防 災 会	H15.2.13

飯館村 ※全組織活動休止中

番号	名 称	結成年月日	番号	名 称	結成年月日
1	宮 内 防 災 会	H12.9.3	11	八 木 沢 ・ 芦 原 防 災 会	H13.7.1
2	小 宮 防 災 会	H12.9.10	12	20 区 防 災 会	H13.8.5
3	飯 樋 町 防 災 会	H13.3.25	13	上 飯 樋 防 災 会	H14.3.24
4	深 谷 防 災 会	H13.3.25	14	蕨 平 防 災 会	H14.4.1
5	伊 丹 沢 防 災 会	H13.4.17	15	草 野 防 災 会	H14.4.1
6	前 田 防 災 会	H13.4.19	16	大 久 保 ・ 外 内 防 災 会	H14.4.1
7	長 泥 防 災 会	H13.4.1	17	大 倉 防 災 会	H14.4.1
8	関 根 ・ 松 塚 防 災 会	H13.5.27	18	11 区 防 災 会	H14.4.1
9	比 曾 防 災 会	H13.6.3	19	臼 石 自 主 防 災 会	H14.7.2
10	関 沢 防 災 会	H13.6.3	20	佐 須 自 主 防 災 会	H14.10.14

※網掛けは解散若しくは活動休止等

市町村別消防クラブ等結成状況

(令和5年4月1日現在)

市町村		幼年消防 ク ラ ブ	少年消防 ク ラ ブ	女性消防隊	計
相馬市		455 (9)	709 (5)	11,251 (1)	12,415 (15)
南相馬市	原町区	670 (8)	1,261 (6)	10,470 (1)	12,401 (15)
	小高区	80 (1)	0 (0)	1,841 (1)	1,921 (2)
	鹿島区	123 (3)	136 (3)	2,583 (1)	2,842 (7)
新地町		129 (3)	125 (3)	2,758 (1)	3,012 (7)
飯舘村		43 (1)	37 (1)	13 (1)	93 (3)
計		1,500 (25)	2,268 (18)	28,916 (6)	32,684 (49)

※ () は組織数を示す。

令和4年版

消 防 年 報

発行 令和5年6月

発行者

〒975-0033

福島県南相馬市原町区高見町一丁目272番地
相馬地方広域消防本部

TEL 0244-22-4164

FAX 0244-22-5790

《編集》 総務課
